TOSHIBA

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

東芝ポータブルDVDプレーヤー取扱説明書

形名 **SD-P2700**

DOLBY DIGITAL　dts DIGITAL OUT

Li-ion

- このたびは東芝ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのポータブルDVDプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

本取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりには動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

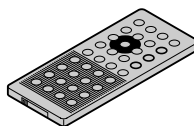
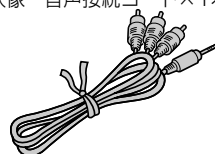
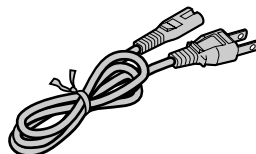
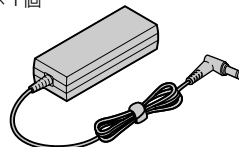
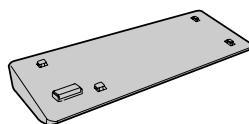
ボタン操作中に画面に「⊘」が表示されることがあります。
「⊘」が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。

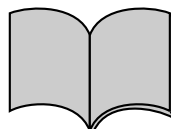
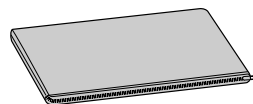
リージョン番号について

本機のリージョン番号は2です。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に 2 のように2が含まれているか、または ALL が表示されていないと、本機では再生できません。（このとき画面に表示が出ます。）

付属品

本機には以下の付属品があります。お確かめください。

ワイヤレスリモコン×1個
コイン型電池(CR2025)×1個

AV端子
映像・音声接続コード×1本

電源コード*×1本

ACアダプター(ADPV16)*
×1個

バッテリーパック×1個

ヘッドホーン×1個

取扱説明書×1冊

ソフトケース×1

*• ACアダプターと電源コードは、付属のもの以外は使用しないでください。
• ACアダプターと電源コードは、本製品以外には使用しないでください。

もくじ

はじめに ●お使いになる前に必ずお読みください。

再生（基本編） ●画像を映してみましょう。

再生（応用編） ●こんな使いかたもできます。

機能設定 ●お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

接続 ●テレビやオーディオシステムに接続できます。また、バッテリーパックを接続して使うこともできます。

その他

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠危険	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと"を示します。
⚠警告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること"を示します。
⚠注意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること"を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものををさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

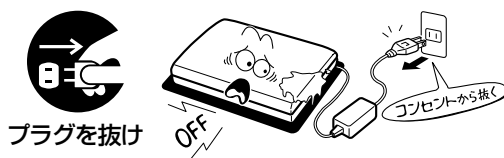
■ 図記号の例

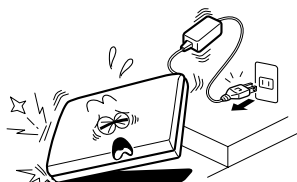
図　記　号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	"⃠"は、**禁止**(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	"●"は、**指示**する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	"△"は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

⚠警告

■ 煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 内部に水や異物がはいったら、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ **落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くこと**
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

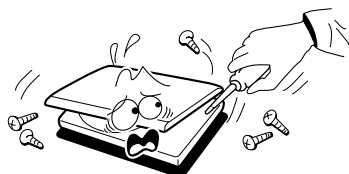
プラグを抜け

■ **ACアダプターのコードが傷んだり、プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと**
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

プラグを抜け

ご使用になるとき

⚠警告

■ **修理・改造・分解はしないこと**
火災・感電の原因となります。
点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■ **内部に異物を入れないこと**
ステープル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

異物挿入禁止

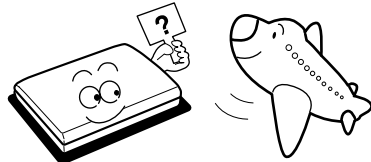
■ **雷が鳴りだしたら、本機や接続コード、アンテナ線などに触れないこと**
感電の原因となります。

接触禁止

■ **水にぬらしたりしないこと**
火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

■ **航空機内で使用するときは、航空会社の指示に従うこと**
航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

指　示

■ **ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見つめたりしないこと**
視力障害の原因となります。

禁　止

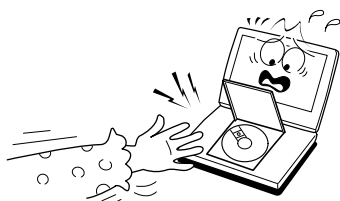
■ **歩行中や、乗り物を運転しながら使用しないこと**
交通事故の原因となります。

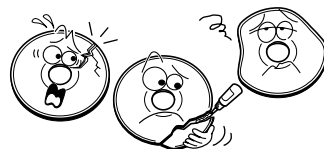
禁　止

ご使用になるとき

⚠注意

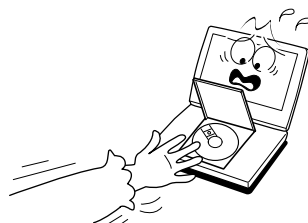
■ **ふたを閉めるとき、手を入れないこと**
手をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁　止

■ **ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと**
ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

禁　止

■ **ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと**
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁　止

■ **回転中のディスクには触れないこと**
ふたを開いたとき、ディスクの回転が完全に停止していないことがあります。回転しているディスクに触れると、けがや故障の原因となります。

禁　止

■ **電源を入れる前には音量を最小にすること**
電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

指　示

■ **画面が破損し、液体がもれてしまった場合は、液体を吸い込んだり、飲んだりしないこと**
中毒を起こすおそれがあります。
万一口や目にはいってしまった場合は、きれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。手や服についてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。

禁　止

設置されるとき

⚠警告

■ **屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと**

火災・感電の原因となります。

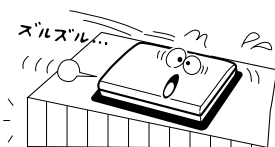
■ **上にものを置かないこと**

● 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
● 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

上載せ禁止

■ **ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと**

本機が落ちて、けがの原因となります。

禁　止

■ **ひざの上などで使用しないこと**

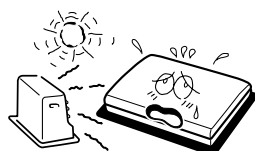
本機は多少温度が上がります。ひざの上などでのご使用は低温やけどの原因となります。
低温やけどは、体温より高い温度のものを長時間あてていると紅斑、水疱等の症状をおこすやけどのことです。なお、自覚症状をともなわないで低温やけどになる場合もありますので特に肌の弱い方はご注意ください。

禁　止

⚠注意

■ **温度の高い場所に置かないこと**

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁　止

■ **湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと**

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

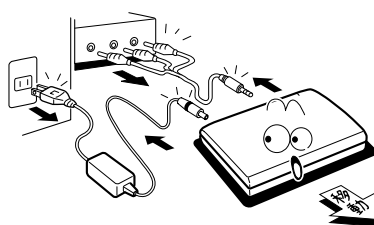
■ **風通しの悪い場所に置かないこと**

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
● じゅうたんや布団の上に置かないでください。
● テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
● あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。
● 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
● 壁に押しつけないでください。

禁　止

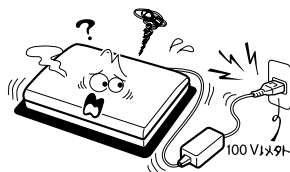
■ **移動させる場合は、ACアダプター・外部との接続コードをはずすこと**

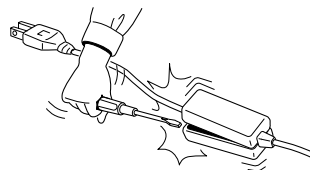
ACアダプターを抜かずに運ぶと、コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

指　示

ACアダプターについて

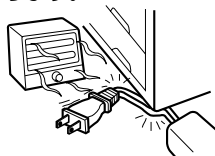
⚠警告

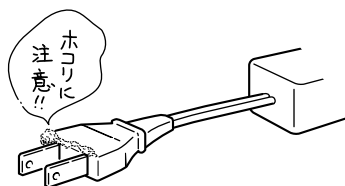
■ **ACアダプターの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること**
交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

指　示

■ **ACアダプターを分解・改造・修理しないこと**
火災・感電の原因となります。

分解禁止

■ **ACアダプターの電源コードは**
- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと**

火災・感電の原因となります。

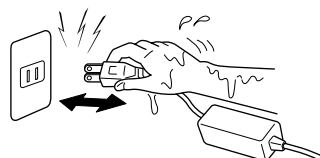
禁　止

■ **ACアダプターの電源プラグの刃や、刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること**
電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

指　示

■ **通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと**
火災、故障の原因となることがあります。

禁　止

⚠注意

■ **ぬれた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないこと**
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

■ **ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと**
コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

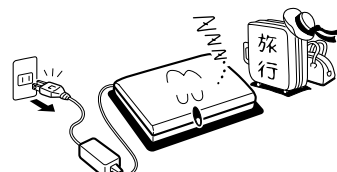
引っ張り禁止

■ **ACアダプターと電源コードは、付属のものを使用すること**
指定以外のACアダプター、電源コードを使用すると、火災・故障の原因となります。付属の電源コードは国内向けです。海外で使用する場合は、使用する地域の規格に適合した電源コードをご使用ください。

指　示

■ **旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のためACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くこと**
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

プラグを抜け

安全上のご注意

■ **付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと**

禁　止

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

■ **ACアダプターの電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと**

指　示

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

バッテリーパックについて

⚠危険

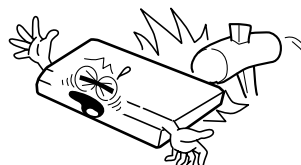
■ **指定されたバッテリーパックを使用すること**

指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。

指　示

■ **バッテリーパックにクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないこと**

電極がショートすると発熱、破裂、発火する原因となります。

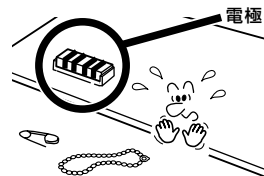
禁　止

■ **バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないこと**

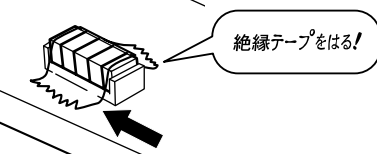
破裂・火災の原因となります。

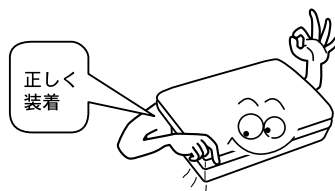
■ **バッテリーパックの電極(＋端子と－端子)を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと**

電極がショートすると、発熱、破裂、発火させる原因となります。

バッテリーパックを持ち運ぶときや保管するときは、電極が金属に触れないように、ビニールなどで包んでください。

禁　止

■ **不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。**
お持ち込みになるときは、＋端子、－端子の電極に絶縁テープを貼り、地方自治体の条例や規則に従うこと

電極がショートすると、破裂、発火のおそれがあります。

■ **バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること**

正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

■ **バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないこと**

破裂、発火の原因となります。

指　示

コイン型電池について

警告

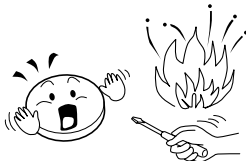
■ **コイン型電池は、幼児の手の届く場所に置かないこと**
コイン型電池をお子様が飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

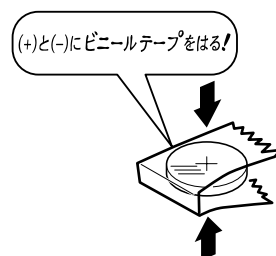
禁　止

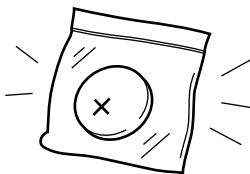
注意

■ **リモコンに使用しているコイン型電池は**
- **指定以外の電池は使用しないこと**
- **極性表示[(+)と(−)]を間違えて挿入しないこと**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中へ入れないこと**
- **表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかないこと**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときはすぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

禁　止

■ **コイン型電池を破棄する場合は、(+)と(−)にそれぞれビニールテープなどをはること**
そのまま破棄すると、金属類でのショートによって、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがをする原因となることがあります。
廃棄する場合は、地域や地方自治体などの規則に従って、定められた場所に出してください。

指　示

■ **開封したコイン型電池を保管・携帯するときは、ポリ袋などに入れること**
そのまま保管・携帯すると、金属類でショートして、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがをする原因となることがあります。

指　示

使用上のお願い

取扱いに関すること

■ 液晶画面に衝撃を与えないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
■ ピックアップレンズ(ふたの中にあるレンズ)の清掃はしないでください。市販されているクリーニングキットも使用しないでください。機能に支障をきたす場合があります。
■ ピックアップレンズに触れないでください。機能に支障をきたす場合があります。
■ 移動させるときは
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
■ 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
■ 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
■ ふだん使用しないとき
必ず、ディスクを取り出し、電源スイッチを切っておいてください。
■ 長期間使用しないとき
機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

■ 本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
■ 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れに関すること

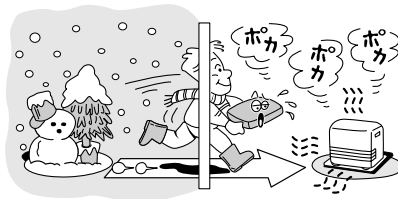
■ 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
水を入れられるかもしれないので、消しましょう。
ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。
■ 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布でふきとってください。

結露(露付き)について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。この現象と同じように、本機のピックアップレンズに水滴がつくことがあります。これを“結露(露付き)”といいます。

■ “結露”はこんなときおきます。

● 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
● 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
● 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき
● 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

■ **結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。**

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、ACアダプターを接続し電源を入れておくと、本機があたたまり、2〜3時間で水滴をとります。

使用上のお願い（つづき）

レーザー製品の取扱いについて

- 本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- レーザー光に直接被爆しないため、絶対に製品を分解しないでください。

廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。（本製品は、プリント基板の製造に使用するはんだに鉛が、液晶画面に使用している蛍光灯には水銀が含まれています。）

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的（ふずいてき）な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

ディスクの取扱いと用語

ディスクの取り扱いかたなどについて説明します。

再生できるディスク

本機では、以下のディスクを再生することができます。

	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオディスク	DVD VIDEO	映像(動画)＋音声	12cm
			8cm
DVDオーディオディスク	DVD AUDIO	音声＋映像	12cm
			8cm
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / VIDEO CD	映像(動画)＋音声	12cm
			8cm
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12cm
			8cm (CDシングル)

以下のディスクも再生できます。
- DVDビデオフォーマットのDVD－Rディスク
- CD－DA(音楽用CD)フォーマットのCD－R／CD－RWディスク

ディスクによっては再生できないものもあります。

- 上記以外のディスクは再生できません。
- 上記のマークが表示されていても、データの作り方やディスクの状態によって再生できない場合があります。
- 上記のマークが表示されていても、DVD－RAMや規格外のディスクなどは再生できません。
- 本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のTV方式(PAL、SECAM)表示のディスクには使用できません。

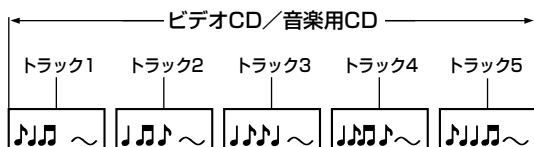
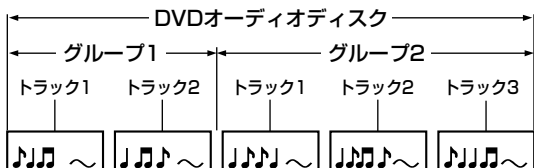
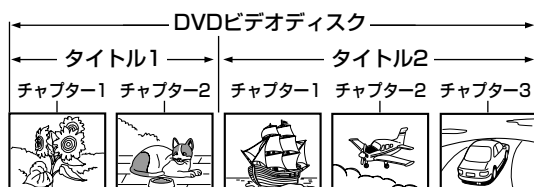
■ ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD(バージョン2.0)に対応しています。(PBCとはPlayback(プレイバック) Control(コントロール)の略です。)
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD (バージョン1.1)	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。
PBC付きビデオCD (バージョン2.0)	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます(メニュー再生)。この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクの取扱いと用語（つづき）

ディスクに関する用語について

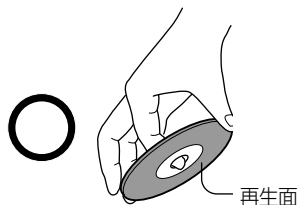
一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
DVDオーディオディスクは、「グループ」という大きい区切りと「トラック」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

タイトル：　DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の「話」に相当します。
DVDオーディオディスクでは、これを「グループ」といいます。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。本の「章」に相当します。
DVDオーディオディスクでは、これを「トラック」といいます。

トラック：　ビデオCD／音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

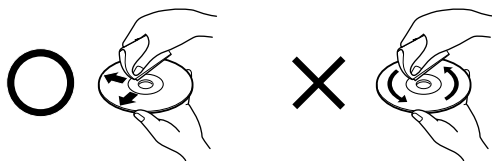
それぞれのタイトルやグループ、チャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「グループ番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。
ディスクによっては、これらの番号が記録されていないものもあります。

ディスクの取扱いかた

● 再生面には手を触れないでください。

● ディスクに紙やシールを貼らないでください。

● ディスクを折り曲げたり、表面を傷つけないでください。

ディスクのお手入れのしかた

● ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

● シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

● 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
● 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
● ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。
専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

再生できるメモリーカード

本機で再生ができるメモリーカードは以下のとおりです。

	マーク（ロゴ）	記録内容
SD メモリーカード	SD	映像（静止画/JPEG ファイル）
マルチ メディア カード	MMC	
メモリー スティック	MEMORY STICK	

- SDロゴは商標です。
- MultiMediaCard™は、独Infineon Technologies AGの商標であり、MMCA（MultiMediaCard Association）にライセンスされています。
- 「メモリースティック」およびMEMORY STICKは、ソニー株式会社商標です。

メモリーカードについて

メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。
対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。

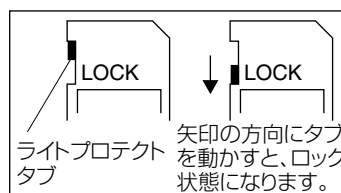
■ 記録画像について

- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの補償、およびこれらに関わるその他の直接·間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードの取扱いかたについては、各取扱説明書をご覧ください。
- 通常のご使用でデータが破壊(消滅)することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破壊(消滅)することがあります。記録されたデータの破壊(消滅)については、故障や損害の内容·原因に関わらず当社は一切その責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 取扱い上のご注意

- ● メモリーカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。
- ● メモリーカードへの書込み、読出し中は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- ● メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- ● 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- ● 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- ● メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。よごれは乾いたやわらかい布でふいてください。
- ● メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには、静電気防止ケースに入れてください。
- ● 直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。
- ● ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- ● 本機から取り出したメモリーカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。
- ● メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。

■ SDメモリーカードの誤消去防止について

- ● たいせつなデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態(書込み禁止状態)にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

■ メモリースティックについて

本機では、著作権保護技術「MagicGate」や、高速データ転送に対応したメモリースティックは使用できません。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律で禁止されています。

ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きによって、複製した画像は乱れます。

本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

各部のなまえ

くわしくは、なまえの□内のページをご覧ください。

全体

液晶画面部を180°
左回転させることが
できます。66

液晶画面

ラッチ

スピーカー

スキップボタン 26 30
(⏮ / ⏭)

モニターボタン 58 59

入力切換ボタン 32

停止ボタン 24

再生ボタン 23

リモコン受光部 19

ディスクカバー

ディスクカバー
オープンボタン 22

画面オープンスイッチ

電源（充電）表示
22 64

必ずこのスイッチを
押して液晶画面部を
起こします。

「カチッ」と音がする
まで、ラッチを差し込
み口に挿入します。

セットアップボタン 50

画質設定ボタン 48

トップメニューボタン 28

メニューボタン 23

リターンボタン

ENTERボタン 50

方向ボタン 50
(▲/▼/◄/►)

セットアップ
画質設定
トップメニュー
メニュー
リターン
ENTER

側面

DC IN 12V
電源
切
入
電源入力端子 20
電源スイッチ 22 24

音量
MMC
音量ダイヤル 24
ヘッドホーン端子1 60
ヘッドホーン端子2 60
メモリーカード挿入口 32

背面

D1/D2映像出力 端子 59
S1映像出力端子 58
AV出力端子 58
AV入力端子 60
ビットストリーム/PCM音声出力端子 62 63

各部のなまえ（つづき）

本文の操作説明はリモコンを使っています。くわしくは、なまえの □〉内のページをご覧ください。

リモコン

メニューボタン**

トップメニューボタン 28

スキップボタン 30

ENTERボタン 50

方向ボタン 50
(▲/▼/◄/►)

早戻しボタン 26 /
スローボタン* 27

一時停止ボタン 24 26

停止ボタン 24

番号ボタン 29 /
+10ボタン* 29

シフトボタン

表示ボタン 46

セットアップボタン 50

スキップボタン 30

アングルボタン 42

字幕ボタン 43

早送りボタン 26 /
スローボタン* 27

音声ボタン 44

リターンボタン/
クリアボタン* 29

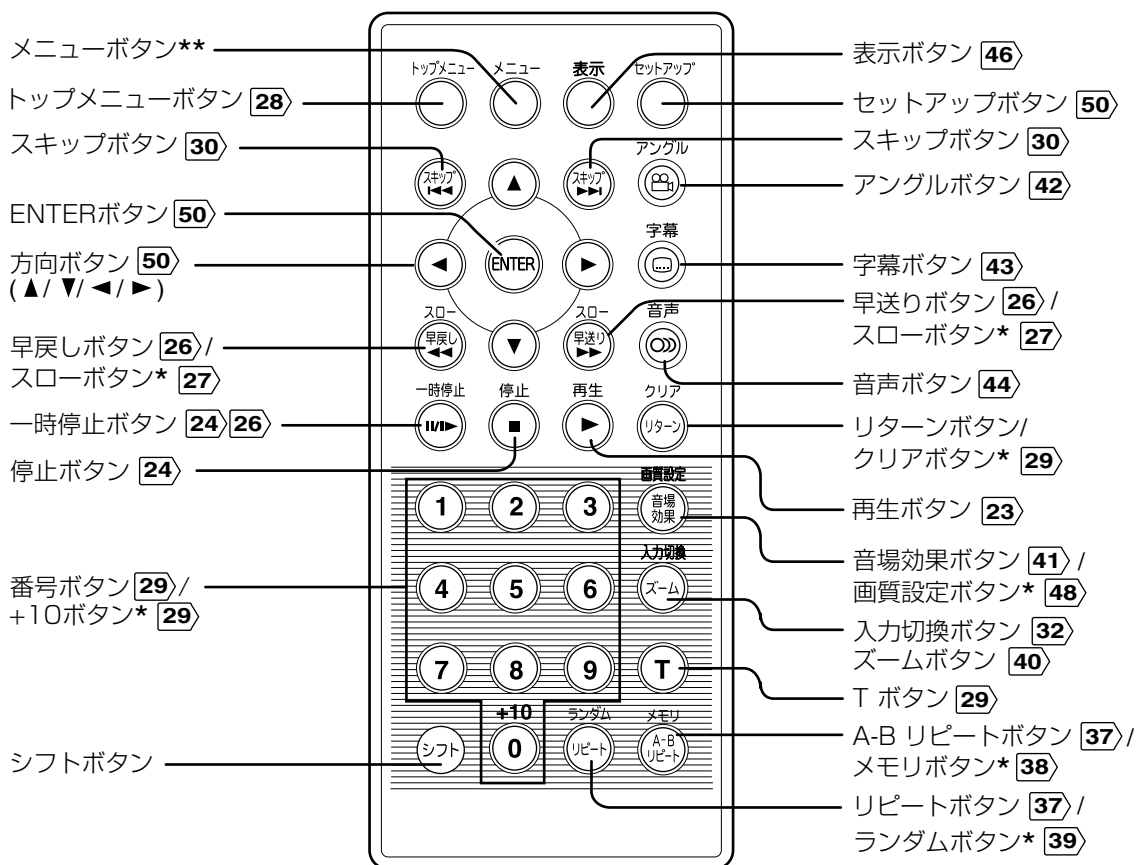
再生ボタン 23

音場効果ボタン 41 /
画質設定ボタン* 48

入力切換ボタン 32
ズームボタン 40

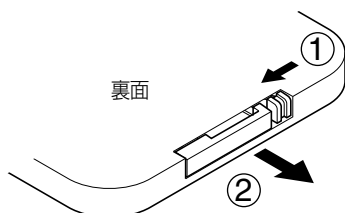
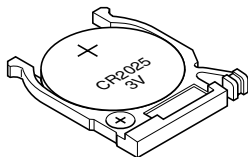
T ボタン 29

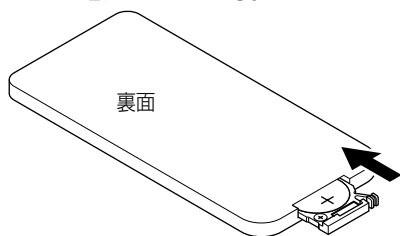
A-B リピートボタン 37 /
メモリボタン* 38

リピートボタン 37 /
ランダムボタン* 39

「*」のボタン
シフトボタンを押しながら、そのボタンを押すと働きます。

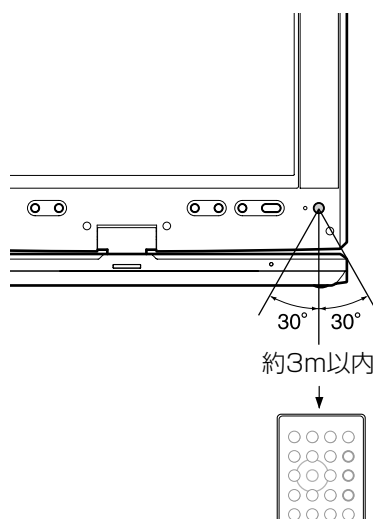
**メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューで頭出しする」28〉と同様の手順で行います。ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

コイン型電池の入れかた

1 ツメを矢印①の方向に押しながら、電池ケースを矢印②の方向に引き出す

2 コイン型電池CR2025の ⊕ 面を上にして、コイン型電池ケースにはめこむ

コイン型電池は、コイン型電池ケースから落ちやすいので、ケースをかたむけたりしないようご注意ください。

3 コイン型電池ケースを押しこむ

■ コイン型電池について
- リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、新しいコイン型電池と交換してください。
- コイン型電池の安全上の注意は、10をご覧ください。
- 指定以外のコイン型電池、または異物を挿入するとリモコンの故障の原因となります。

リモコンで操作するには

本体のリモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押す

距離：リモコン受光部正面から約3m以内です。
角度：リモコン受光部から上下左右約30度以内です。

- リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

■ リモコンについて
- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。

ACアダプターの接続

ACアダプターを接続します。

付属のバッテリーパックを使うと、屋外でも使用できます。

バッテリーパックの取り付けかたは、64〉をご覧ください。

⚠警告

- **ACアダプターの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること**
  交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

- **ぬれた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないこと**
  感電の原因となることがあります。
- **付属のACアダプターを使用すること**
  指定以外のACアダプターを使用すると、火災・故障の原因となります。

通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。
持ち運ぶときは、電源プラグを抜き、温度が下がってから行ってください。

DC IN 12V
電源
切
入

電源入力端子へ

2

1、2、3の順に接続します。
はずすときは、逆の3、2、1 の順ではずします。

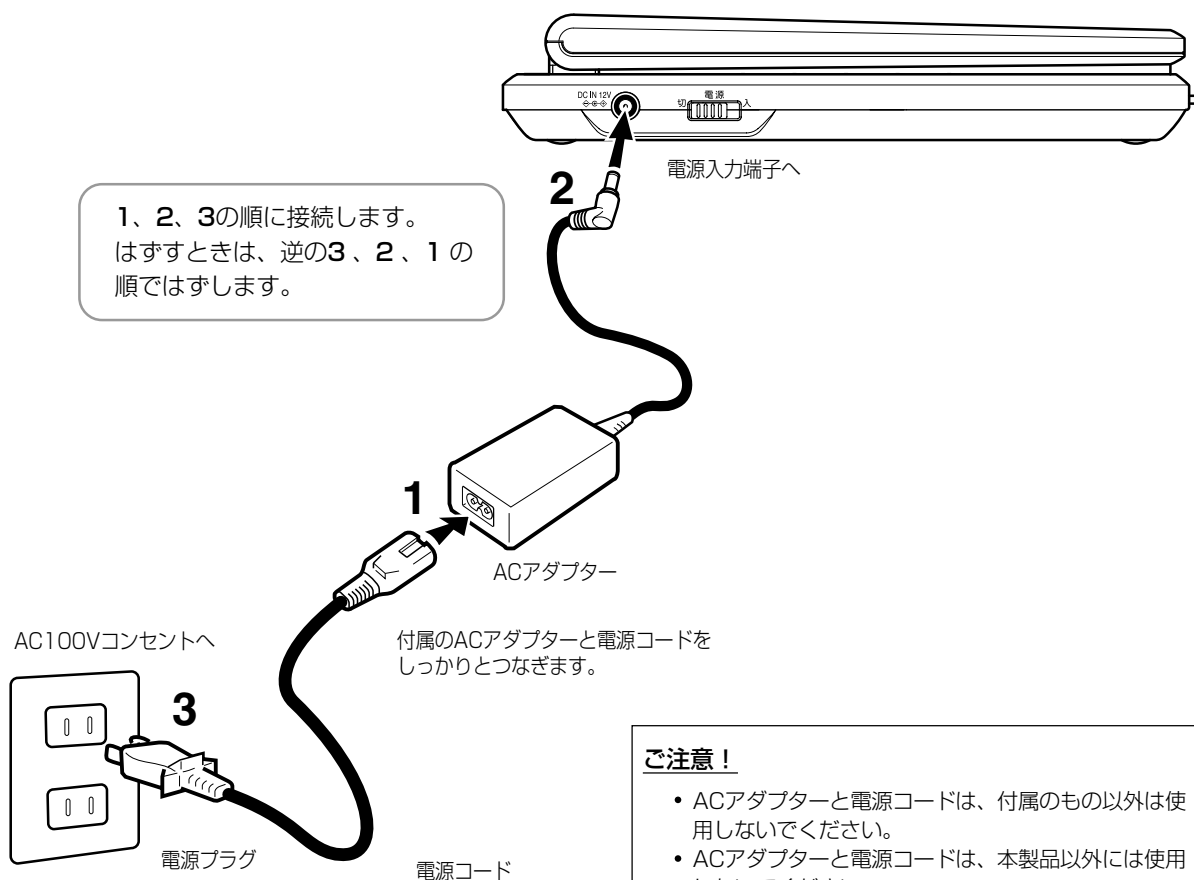
1

ACアダプター

AC100Vコンセントへ

付属のACアダプターと電源コードをしっかりとつなぎます。

3

電源プラグ

電源コード

ご注意！

- ACアダプターと電源コードは、付属のもの以外は使用しないでください。
- ACアダプターと電源コードは、本製品以外には使用しないでください。

再生（基本編）

画像を映してみましょう。

- ●ディスクの再生
- ●いろいろな速さの再生
- ●頭出しサーチ
- ●MP3/WMAファイル対応CDの再生
- ●JPEGファイルの再生

本書について

- イラストに線で示した番号は、各操作手順と対応しています。
- 「ディスクの再生」以外では、操作説明のところにリモコンのボタンのイラストしかありませんが、リモコンと同じ名称の本体ボタンも同じように使えます。

ディスクの再生

ディスクを再生します。

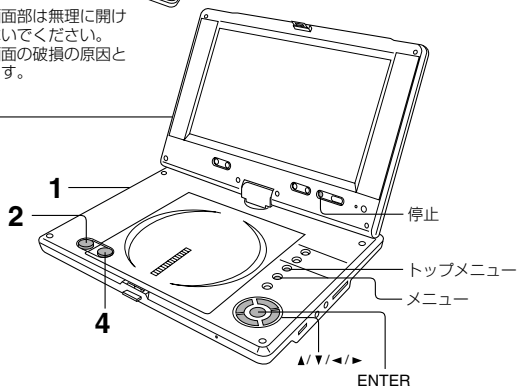
□ 内の数字は本取扱説明書のページを示しています。
説明中に □ があるときは、そのページをご覧ください。

⚠注意

- 回転中のディスクに触れないこと。けがや故障の原因となります。
- ふたを閉めるとき、手を入れないこと。手をはさみ、けがの原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。
- 再生中に本機を傾けたり、揺らしたり移動させたりしないでください。ディスクを傷めてしまいます。

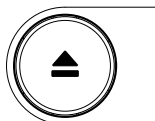
DVD-V DVD-A VCD CD ディスクを再生する

■ 準備

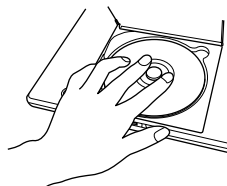
- ACアダプター 20 またはバッテリーパック 64 を接続します。
- テレビやモニターに接続して映像を楽しむときは、接続した機器の電源を入れて、本機を接続しているビデオ入力を選びます。
- 音声をオーディオ機器で楽しむときは、オーディオ機器の電源を入れて、本機を接続している入力に切り換えます。
- リモコンをお使いになる前に、リモコンに電池を入れてください。 19
- ヘッドホーンをお使いになるときは、「ヘッドホーンの接続」をご覧ください。 60
- 画面オープンスイッチを押して、液晶画面部を開きます。

1 電源を入れる

電源スイッチを「入」にスライドさせます。

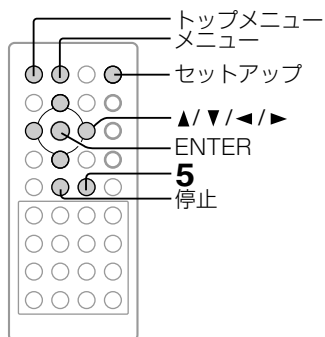
本体の電源がはいり、電源(充電)表示が緑色に点灯します。

2 ふたをあける

本体のディスクカバーオープンボタンを押します。
ディスクカバーがあきます。

ディスクカバーは決まった範囲よりあけることはできません。それ以上は無理な力を加えてあけないでください。破損の原因となります。

3 ディスクをはめる

再生面を下にして、カチッと音がするまでディスクの中央付近を指で確実に押します。

4 ふたを閉める

左手前のクローズの表示付近を押して閉めます。

■ より見やすくお楽しみいただくために（テレビに接続時）

DVDビデオディスクの映像は、情報量が多く高解像度であるため、ディスクによっては通常のテレビ放送では見えなかった細かなノイズが見えることがあります。お使いになるテレビにもよりますが、通常テレビを見るときよりも画質調整（シャープネス）を下げると、見やすくなります。

■ DVD-V DVD-A VCD CD について

この取扱説明書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表わしています。

DVD-V：DVDビデオディスク　DVD-A：DVDオーディオディスク

VCD：ビデオCD　CD：音楽用CD

5 再生を始める

► 再生　再生ボタンを押します。

DVD-V トップメニューが記録されたDVDビデオディスクや、プレイバックコントロール（PBC）付きビデオCD 13 を再生したときは、メニュー画面が表示されます。「トップメニューで頭出しする」をご覧ください。28

- ディスクメニュー画面は、トップメニューボタンや、メニューボタンを押して表示させる場合があります。（DVDビデオディスクによって異なります。）

DVD-A ディスクによってはメニュー画面が表示されます。「トップメニューで頭出しする」28 と同じ方法で操作してください。

■ 停止状態から再生を始める

再生ボタンを押す

► 再生

お願い

- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものを入れないでください。
- 再生が終わったあと、メニュー画面などが表示されるディスクがあります。テレビに接続してご覧の場合、メニュー画面などの静止画面が長く続くと、画面に焼き付きが生じることがあります。必ず停止ボタンを押して、再生を終了してください。

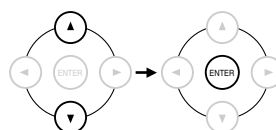
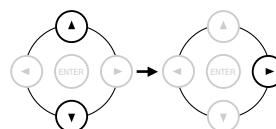
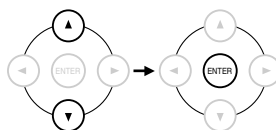
ご注意！

移動中の車内などで本機を使用しないでください。振動などで、本来の再生ができなくなったり、ディスクが傷つくおそれがあります。

■画面表示言語の変更のしかた

1 **セットアップ**ボタンを押す

以下のような画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ ボタンを押して「言語」を選択し、ENTERボタンを押す

3 ▲ / ▼ ボタンを押して「画面表示言語」を選択し、► ボタンを押す

4 ▲ / ▼ ボタンを使い、言語を選択し、ENTERボタンを押す

5 **セットアップ**ボタンを押す

設定画面が消えます。

ディスクの再生（つづき）

ディスクを再生する（つづき）

■ スピーカーとヘッドホーンの音量を調節する

音量ダイヤルで調節する

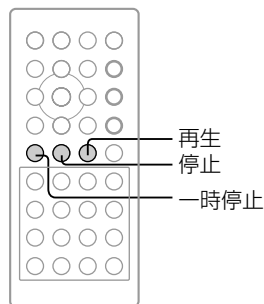
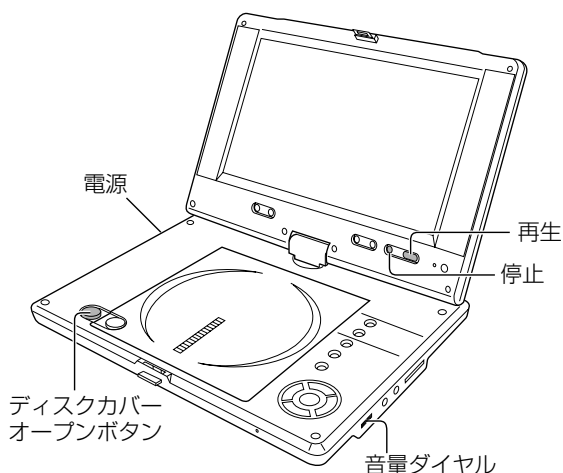
音量

右：音量を上げる
左：音量を下げる

■ 再生を一時停止する（静止画再生）

再生中に**一時停止**ボタンを押す

普通の再生に戻すには、**再生**ボタンを押します。

- 静止画再生中は、音声は再生されません。

■ 再生を止める

停止ボタンを押す

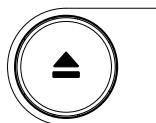
■ 停 止

本機は、再生が停止した箇所を記録します。記録を消去したい場合は、停止ボタンを再度押します。27

■ 電源を切る

電源スイッチを「切」へスライドさせる

■ ディスクを取り出す

本体のオープンボタンを押し、ディスクカバーをあける

ディスクのふちを静かに持ち上げてディスクホルダーからはずします。
ディスクを取り出したあとは、ディスクカバーを閉めます。

⚠注意

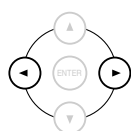
長時間の再生のあとで、ディスクホルダーの中央部に触れないこと。
ホルダーの中央部が熱くなっていることがあります。
ディスクを取り出すときは十分注意してください。

禁 止

■ DVDオーディオディスクの静止画について

DVDオーディオディスクには大きく分けて2種類の静止画が記録されていることがあります。

スライドショー： ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。お客様による操作や静止画が切り換わる時間は変更できません。

ブラウザブルピクチャー：
プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生できます。
これらの静止画は、以下のようにリモコンのボタンを使って探すことができます。また、ブラウザブルピクチャーの中でも自動的に静止画が切り換わるタイプもあります。

◄ / ► ボタンを押す
静止画をめくります。
(ディスクによってはめくる順番が変わることがあります。)

リターンボタンを押す
ディスクで決められた静止画に戻ります。

■ スクリーンセーバー(焼付き防止機能)について

テレビなどに接続して使うときに、テレビの画面を保護するための機能です。(焼付き防止を保証するものではありません。)
DVDビデオディスクの静止画面がおよそ20分程続くと、スクリーンセーバーが自動的に働きます(「スクリーン・セーバー」を「オン」に設定しているとき 55)。スクリーンセーバーを解除するときは、本体の**再生**ボタンまたはリモコンの**再生**ボタンを押してください。

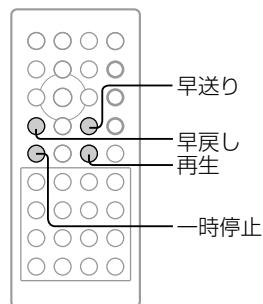
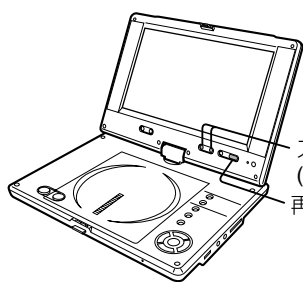
■ オートパワーオフ機能

停止状態やスクリーンセーバーが約20分間続くと、待機状態になります。
液晶モニターを表示させるには、本体かリモコンのボタンのどれかを押してください。

■ 液晶画面について

- カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯する画素や点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でもなくすことは困難ですので、ご了承ください。
- 液晶モニターのバックライトに使用されている蛍光管には寿命があります(寿命の目安は、常温で連続使用時約10,000時間です)。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しないときは、お求めの販売店にお問い合わせください。
- 液晶モニターは、見る角度によって微妙に明るさなどが変わります。きれいに見える角度に調節してご覧ください。
(なるべく画面に対して直角になる位置から見ることをおすすめします)

いろいろな速さの再生

普通の再生以外に、違った速さで再生したり、途中で中断した続きから再生することができます。

DVD-V DVD-A VCD CD 早戻し、早送りで再生する

再生中に、リモコンの早戻し/早送りボタンを押す

スロー 早戻し ◀◀

早戻し: 早戻しの再生
早送り: 早送りの再生

スロー 早送り ▶▶

早送りまたは早戻しの再生になったあとは、押すたびに再生する速さが切り換わります。

再生中に本体のスキップ(⏮/⏭)ボタンを押し続ける

早送りまたは早戻しの再生になったあとは、押すたびに再生する速さが切り換わります。

■ **普通の再生に戻すには**

再生ボタンを押す

お知らせ

- DVDディスクでの早戻し、早送り再生中は、音声と字幕(副映像)は再生されません。
- DVDオーディオディスクでは、早送り/早戻しできない場合があります。
- 早送り、早戻しの速さはディスクによって異なります。

DVD-V DVD-A VCD CD コマ送りで再生する

一時停止(静止画再生)中に、一時停止ボタンを押す

一時停止 ⏸/⏯

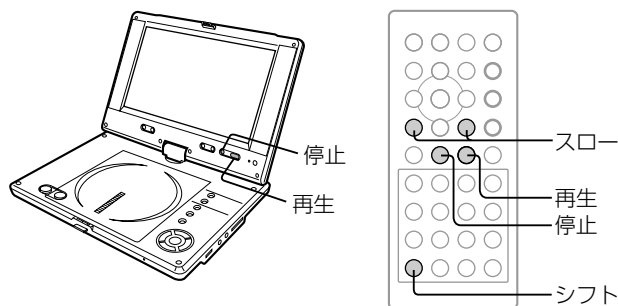
押すたびに、画像をコマ送りします。

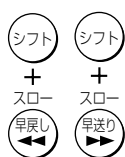
■ **普通の再生に戻すには**

再生ボタンを押す

再生 ▶

お知らせ

- コマ送り再生中は、音声は再生されません。
- 映像が記録されたDVDオーディオディスクのときは、映像部分でのコマ送り再生ができる場合もあります。

DVD-V DVD-A VCD CD スローモーションで再生する

再生中に、シフトボタンを押しながらスローボタンを押す

押すたびに、スローモーションの速さが切り換わります。

再生中にシフトボタンを押しながらスロー(◀◀)ボタンを押すと、戻し方向のスローモーションで再生します(DVDビデオディスク再生時)。

■ **普通の再生に戻すには**

再生ボタンを押す

お知らせ

- スローモーションで再生中は、音声は再生されません。
- 速さの表示はおおよそです。再生するディスクによっても異なります。
- 映像が記録されたDVDオーディオディスクのときは、映像部分でのスロー再生ができる場合もあります。

DVD-V DVD-A VCD CD 中断したあとの続きを再生する(続き再生)

1 再生を中断する位置で停止ボタンを押す

中断した位置を本機が記憶します。

2 再生ボタンを押す

再生 ►

再生を中断した位置から再生が始まります。

■ **続き再生をしないで始めから再生するには**

1 **停止**ボタンを2回押す

続き再生が解除されます。

2 **再生**ボタンを押す

再生 ►

DVD-V タイトルの始めから再生されます。

DVD-A グループの始めから再生されます。

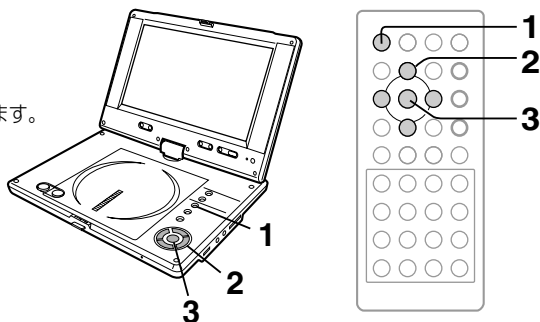
VCD CD ディスクの始めから再生されます。

- DVDビデオディスクやDVDオーディオディスクをディスクの始めから再生したいときは、いったん本機の電源を切り、電源ボタンでもう一度電源を入れたあとで、再生をしてください。

お知らせ

- 次のときは、続き再生の機能が働きません。
  - ■ PBC付きビデオCDを、「PBC」を「オン」の設定で再生しているとき 55
- ディスクによって、続き再生の始まる位置が変わることがあります。
  特にDVDオーディオディスクでは、トラックの先頭に戻る場合があります。

頭出しサーチ

再生したいタイトル、チャプター、トラックを簡単に頭出しできます。

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
DVDオーディオディスクは、「グループ」という大きい区切りと「トラック」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

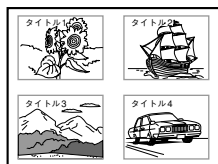
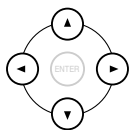
DVDオーディオディスク
グループ1　グループ2
トラック1　トラック2　トラック1　トラック2　トラック3

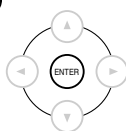
ビデオCD／音楽用CD
トラック1　トラック2　トラック3　トラック4　トラック5

DVD-V DVD-A VCD CD トップメニューで頭出しする

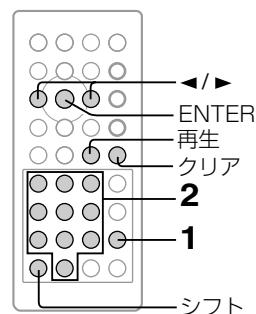
1 トップメニューボタンを押す

トップメニューが表示されます。

例

2 ▲/▼/◄/► ボタンを押して、再生したいタイトルを選ぶ

トップメニューの各タイトルに番号がついている場合は、その番号を番号ボタンで直接選ぶことができます。

3 ENTERボタンを押す

選んだタイトルのチャプター1から再生が始まります。

お知らせ

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、操作手順が画面に表示されている場合は、その手順にしたがってください。
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューを使った頭出しはできません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンをTITLE(タイトル)ボタンと呼んでいる場合があります。

DVD-V DVD-A VCD CD 番号を指定して頭出しする

1 Tボタンを数回押す

押すたびに、表示が変わります。タイトル、チャプター、トラックをそれぞれ頭出ししたい場合は、「タイトル」、「チャプター」、「トラック」をそれぞれ表示させます。頭出ししたい箇所で、時間を入力してタイムサーチもできます。36

T

例：DVD-V

タイトル　01/03　チャプター　--/40

例：VCD CD

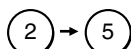
トラック　--/12

2 番号ボタンを押して、頭出し先の番号を入力する

例：25を入力する

2 → 5

または

シフト＋0(+10) → シフト＋0(+10) → 5

DVDビデオディスクでは、「タイトル」と「チャプター」の入力位置を◄ / ► ボタンで切り換えられます。

3 再生ボタン、またはENTERボタンを押す

再生

選んだ箇所から再生が始まります。

お知らせ

- 番号を設定前に戻す場合は、シフトボタンを押しながら、クリアボタンを押してください。
- 頭出し画面は、しばらく何も操作しないと消えます。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を使った頭出しはできません。
- 画面表示で、タイトル、グループ、チャプター、トラックを変更することもできます。46

■ DVDオーディオディスクのボーナスグループの再生

DVDオーディオディスクには、「ボーナスグループ」と呼ばれるものが記録されていることがあります。これを再生しようとすると、自動的にキーナンバーを入力する画面になります。番号ボタンでキーナンバーを入力し、ENTERボタンを押してください。入力したキーナンバーが正しければ、このボーナスグループの再生ができます。キーナンバーの入手方法は、ディスクによって異なりますので、ジャケット等を参照してください。

お知らせ

- ディスクを取り出したときなどは、入力したキーナンバーが消去されます。必要なときは、もう一度キーナンバーを入力してください。
- メモリー再生などでボーナスグループを再生したいときは、あらかじめキーナンバーを入力しておいてください。

頭出しサーチ(つづき)

DVD-V DVD-A VCD CD 前後のチャプター/トラックを頭出しする

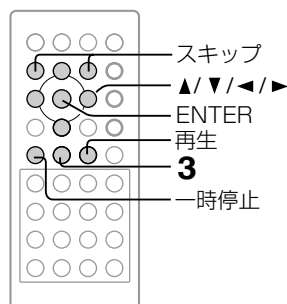
スキップ(I◀◀/▶▶I)ボタンをくり返し押して、再生したいチャプター/トラック番号を出す

選んだチャプター/トラックから再生が始まります。

一つ先のチャプター/トラックの先頭から再生します。

現在のチャプター/トラックの先頭から再生します。
連続して2度押しすると、一つ前のチャプター/トラックの先頭から再生します。

MP3/WMAファイル対応CDの再生

MP3/WMAファイルの再生ができます。

MP3/WMAファイルの再生

■ 準備

このプレーヤーに適合したMP3/WMA対応ディスクは以下のものに限られています。使用する前にお確かめください。

ディスクの種類：　CD-ROM、CD-R、CD-RW
サンプリング周波数：　32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
ビットレート：　WMA：48 kbps ～192 kbps（CBR）
　MP3：32 kbps ～ 320kbps（CBR）
フォーマット：　MODE 1
ファイルシステム：　ISO9660レベル,UDF without interleave
ファイル名：　8文字以下で、拡張子「MP3」または「WMA」が付け加えられていること。（例「○○○○○○○○.MP3」、「○○○○○○○○.WMA」）
　“?!><+*}{`[@]:;¥ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。
　50バイト以下
ファイルの総数：　650以下
WMAコーデック方式版：　V2、V7、V8、V9(ステレオサウンドのみ)

1 **MP3/WMAファイルが記録されているディスクを入れ、ディスクホルダーを閉める**

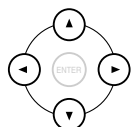
メニューが表示されます。

2 **▲/▼/◄/►ボタンで再生したいファイル名を選択する**

3 **再生ボタンまたは、ENTERボタンを押す**

再生

再生が始まります。

■ 再生を停止する

停止ボタンを押す

■ 再生を一時停止する

再生中に、**一時停止**ボタンを押す

一時停止

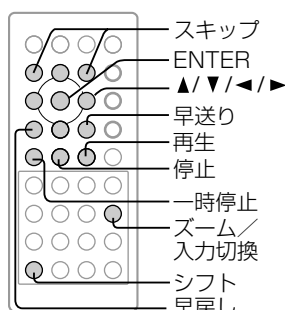
普通の再生に戻すには、再生ボタンを押します。

お知らせ

- ディスクによっては再生できないものがあります。
- 著作権保護されているWMAトラックは、再生できません。
- ビットストリーム/PCM音声出力端子から出力されるMP3/WMAファイルの音声は、「音声出力設定」に関係なく、リニアPCM音声で出力されます。53
- 停止ボタンを押して再生を停止したあとに、続けて再生ボタンを押した場合、再生は止めた位置からではなくその曲の最初から始まります。
- スキップ 、リピート 、ランダム の各機能も使えます。

インターネットからMP3ファイルや音楽をダウンロードするためには、許諾が必要となりますので、ご注意ください。

JPEGファイルの再生

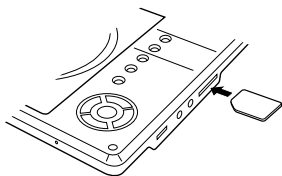
CD-RやメモリカードにTextに記録されたJPEGファイルを再生できます。

JPEGファイルの再生

■ 準備

JPEG形式の画像が記録されたディスクかメモリーカードを準備してください。34

1 JPEGファイルの含まれたディスクをはめ、ディスクカバーを閉める

メニューが表示されます。
コダック ピクチャーCDの場合、スライドショーが自動的にスタートします。また、メニューは表示されません。(次ページ参照)

JPEGファイルの含まれたメモリーカードをカード挿入口に差し込む

メモリーカードを再生するには本機のモードを「カード」に切り換えます。

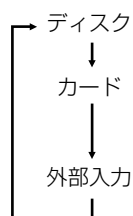
本体で切り換える場合：

入力切換

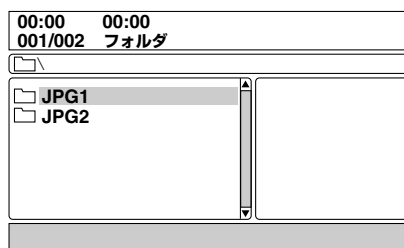
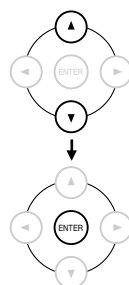
本体の**入力切換**ボタンを押す
押すたびに、本機のモードが切り換わります。

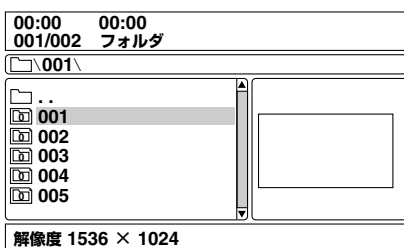
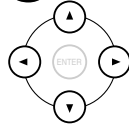
リモコンで切り換える場合：

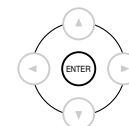
シフト ＋ 入力切換 ズーム

リモコンの**シフト**ボタンを押しながら**入力切換**ボタンを押す
入力切換ボタン押すたびに、本機のモードが切り換わります。

モード	説明
ディスク	ディスクを再生するモードです。
カード	本機に挿入したメモリーカードを再生するモードです。
外部入力	外部機器の映像を見るモードです。

2 ▲ / ▼ ボタンを押して、フォルダを選び、ENTERボタンを押す

例：

3 ▲ / ▼ ボタンを押して、ファイルを選ぶ

例：

4 再生ボタンまたは、ENTERボタンを押す

再生

選んだ画像からスライドショーが始まります。最後までいくとトップメニューに戻ります。

メモリーカードは、フォルダ構成、ファイル数、ファイルサイズによって、再生するまでに時間がかかる場合があります。

■ スライドショーを停止する

ストップボタンを押す

停止

サムネールモード(9枚表示)になります。

■ スライドショーを一時停止する

再生中に、**一時停止**ボタンを押す

一時停止

スライドショーに戻すには、再生ボタンを押します。

■ 他の画像に切り換えるには

再生中に、**スキップ**（⏮/⏭）ボタンを押す

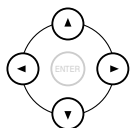
⏮：前の画像に切り換える

⏭：次の画像に切り換える

お知らせ

- ファイルのサイズによっては画像が表示されないことがあります。
- メニューが表示されていないとき、メニューボタンを押すと、メニューが表示されます。

■画像を回転させる

再生中に、▲ / ▼ / ◄ / ►ボタンを押す

▲：画像が上下に反転します。

▼：画像が左右に反転します。

◄：画像が反時計回りに90度回転します。

►：画像が時計回りに90度回転します。

■画像を拡大する

1　再生中、**ズーム**ボタンを押す

ズーム再生します。

2　**早送り**／**早戻し**ボタンを押す

早送りボタン：拡大
早戻しボタン：縮小
早送り／早戻しボタンを押すたびに倍率が変わります。

ズーム再生中、▲ / ▼ / ◄ / ►ボタンを押して画像を移動させることができます。
もう一度ズームボタンを押すと、ズーム再生が終了します。

■ランダムに表示するには

シフトボタンを押しながら、ランダムボタンを押す

＋

押すたびに、モードが切り換わります。

シャッフル：選択したディスクまたはカードの中のファイルを順不同に表示します。
ランダム　：選択したフォルダの中のファイルを順不同に表示します

■くり返し表示するには

リピートボタンを押す

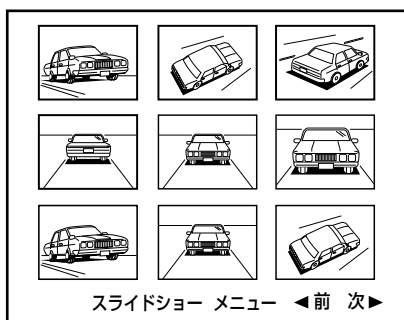
リピートボタンをくり返し押して、リピートモードを選択します。

リピートファイル：選択したファイルを表示しつづけます。
リピートフォルダ：選択したフォルダ内のファイルを繰り返し表示します。

JPEGファイルの再生（つづき）

JPEGファイルの再生（つづき）

■サムネイルモード

例：

▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押して、画像を選び、**再生**ボタンを押します。選んだ画像からスライドショーが始まります。

「スライドショー」を選び、**ENTER**ボタンまたは**再生**ボタンを押します。スライドショーが始まります。

「メニュー」を選び、**ENTER**ボタンまたは**再生**ボタンを押します。JPEGファイル再生機能が一覧表示されます。

「◀前」を選び、**ENTER**ボタンまたは**再生**ボタンを押します。前の9枚の画像が表示されます。

「次▶ 」を選び、**ENTER**ボタンまたは**再生**ボタンを押します。次の9枚の画像が表示されます。

停止ボタンを押します。
メニュー画面に戻ります。

■コダック　ピクチャーCDを再生する

コダック　ピクチャーCDを挿入します。
スライドショーは自動的に開始されます。

終了すると、サムネイルモードになる場合があります。
停止ボタンを押しても、サムネイルモードになります。

対応JPEGファイル

当社で動作確認済みの対応ディスクは以下のとおりです。

コダック　ピクチャーCD

本機で対応できるJPEGディスクは、以下のものに限られています。
使用する前にお確かめください。

- ディスクの種類：　CD-ROM、CD-R、CD-RW
- ファイルシステム：ISO9660、UDF without interleave
- ファイル名：　8文字以下で、拡張子「JPG」が付け加えられていること。
  （例「○○○○○○○○.JPG」）
  “？！＞＜＋＊}{` [@:]：；＼／．，”etc.など、特殊な文字が使われていないこと。
  英数字のみで構成されていること。
- ファイルサイズ：　１０Mバイト以下
- フォーマット：　BASELINE,PROGRESSIVE
- 解像度：　Baseline JPG:3072×2048
  Progressive　JPG:幅（高さ＋128）＜3300000

お知らせ

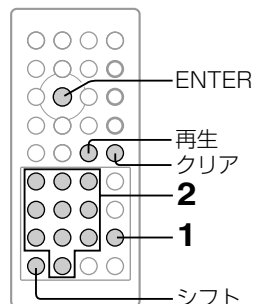
「メモリースティックPRO」および「メモリースティックDuo」は、本機ではご使用になれません。

再生（応用編）

こんな使いかたもできます。

- タイムサーチ再生
- リピート再生
- メモリー再生
- ランダム再生
- ズーム再生
- 音質の切換え
- アングルの切換え
- 字幕の表示と切換え
- 音声の切換え
- 使用状態と各種設定
- 画質の切換え

タイムサーチ再生

ディスクの経過時間を指定して頭出しができます。

DVD-V DVD-A VCD CD タイムサーチで頭出しする

1 Tボタンを数回押す

押すたびに、画面が変わります。
DVDビデオディスクでは、「時間」と表示されるまでTボタンを数回押してください。
ビデオCDまたは、オーディオCDでは、「移動先ディスク」または「移動先トラック」が表示されるまでTボタンを数回押してください。

T

例：DVD-V

タイトル　01/03　時間　–:– –:– –

チャプター　01/40　タイム　–:– –:– –

例：VCD CD

移動先ディスク　:– –:– –

移動先トラック　:– –:– –

2 番号ボタンを押して、時間を入力する

例

1→2→5→3→0

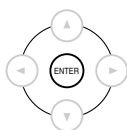
タイトル　01/03　時間　1:25:30

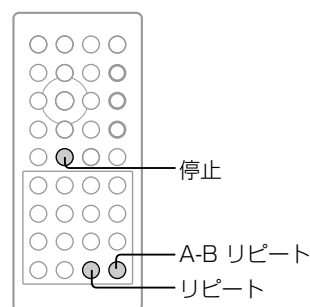
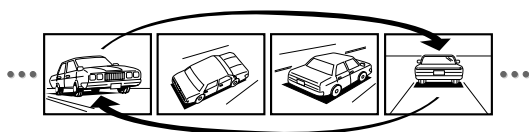
3 再生ボタン、またはENTERボタンを押す

再生 ►

選択したところから再生が始まります。

お知らせ

- 番号をリセットするには、シフトボタンを押しながら、クリアボタンを押します。
- 頭出し画面は、しばらく何も操作しないと消えます。
- ディスクによっては、タイムサーチできないものがあります。
- 場面によっては、タイムサーチできないことがあります。

リピート再生

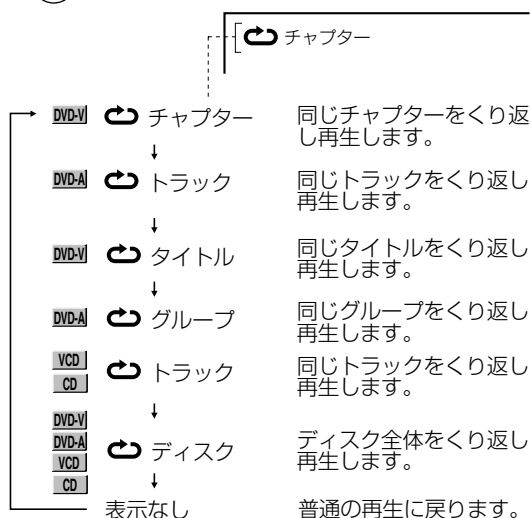
タイトルやその中のチャプターまたはトラックをくり返し再生できます。

DVD-V DVD-A VCD CD タイトル、グループ、チャプターまたはトラックをくり返し再生する

再生中、リピートボタンを押す

ランダム
リピート

押すたびに、リピートモードが以下のように切り換わります。

チャプター

ディスク	表示	動作
DVD-V	チャプター	同じチャプターをくり返し再生します。
DVD-A	トラック	同じトラックをくり返し再生します。
DVD-V	タイトル	同じタイトルをくり返し再生します。
DVD-A	グループ	同じグループをくり返し再生します。
VCD CD	トラック	同じトラックをくり返し再生します。
DVD-V DVD-A VCD CD	ディスク	ディスク全体をくり返し再生します。
	表示なし	普通の再生に戻ります。

■**普通の再生に戻すには**

リピートアイコンが消えるまで、くり返し **リピート**ボタンを押す

ランダム
リピート

または、**停止**ボタンを押して終了する

お知らせ

- ディスクによっては、くり返し再生できないものがあります。
- 表示画面上で、くり返し再生することもできます。46

DVD-V DVD-A VCD CD 範囲を指定してくり返し再生する

1 くり返し再生したい範囲の始点(A)で、A-Bリピートボタンを押す

A

2 くり返し再生したい範囲の終点(B)で、A-Bリピートボタンを押す

自動的にA点に戻り、指定した範囲(A-B間)のくり返し再生が始まります。

AB

■**普通の再生に戻すには**

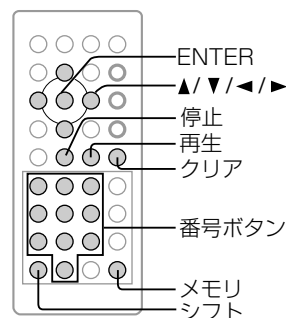
A-Bリピートボタンを押す

または、**停止**ボタンを押して終了する

お知らせ

- ディスクによっては、A-B間のくり返し再生ができないものがあります。
- 選んだタイトルまたはトラックの中だけで、A-Bの設定ができます。
- ディスクによって、くり返し再生したときの始点(A)の位置が変わることがあります。

メモリー再生

再生したいタイトルやチャプター、トラックを組み合わせ、好きな順番で再生できます。最大20とおりまで設定できます。

DVD-V DVD-A VCD CD 好きな順番でタイトル、グループ、チャプター、トラックを設定し、再生する

1 停止中、シフトボタンを押しながら、メモリボタンを押す

＋

メモリ
A-B リピート

メモリー再生の設定画面が表示されます。

例：

01	TT:--	CH:--	06	TT:--	CH:--
02	TT:--	CH:--	07	TT:--	CH:--
03	TT:--	CH:--	08	TT:--	CH:--
04	TT:--	CH:--	09	TT:--	CH:--
05	TT:--	CH:--	10	TT:--	CH:--
	終了			次	

TT : タイトル番号
CH: チャプター番号

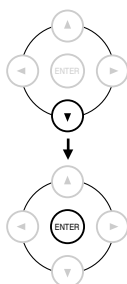
例：VCD CD

01	--	06	--
02	--	07	--
03	--	08	--
04	--	09	--
05	--	10	--

2 再生したい順番に番号を入力し、ENTERボタンを押す

ENTERボタンを押すと、カーソル（■）が 移動します。

►►|ボタンを押すと、次の設定画面に進みます。

3 ▼ ボタンを押して、「再生」を選び、ENTERボタンまたは、再生ボタンを押す

設定した順にメモリー再生が始まります。

■設定内容を変更するには

1 画面上で、▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して、変更したい項目にカーソルを合わせる
2 選んだ項目を手順2〜3を行って、変更する

■設定内容を取り消すには

1 画面上で、▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して、取り消したい項目にカーソルを合わせる
2 **シフト**ボタンを押しながら、**クリア**ボタンを押す

■メモリー再生から普通の再生に戻すには

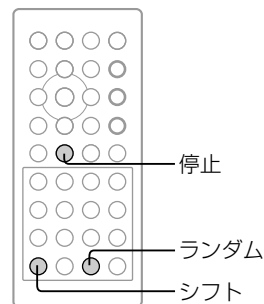
1 **シフト**ボタンを押しながら、**メモリ**ボタンを押して、設定画面を表示させる
2 「停止」を選び、ENTERボタンを押す

または**停止**ボタンを押して終了する

お知らせ

- 番号をリセットするには、シフトボタンを押しながら、クリアボタンを押します。
- ディスクによっては、メモリー再生できないものがあります。
- 画面の表示中に「終了」を選び、シフトボタンを押しながら、ENTERボタンまたは、メモリボタンを押すと、メモリー画面が消えます。
- 本機の電源を切ったときは、設定したメモリー内容が解除されます。

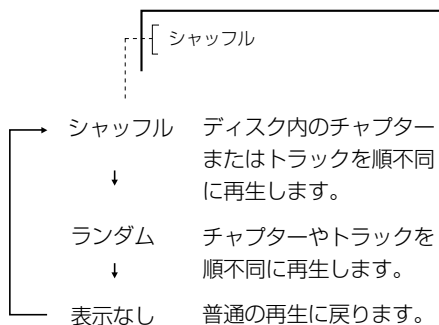
ランダム再生

チャプターやトラックを順不同に再生できます。

DVD-V DVD-A VCD CD チャプターやトラックを順不同に再生する

シフトボタンを押しながら、ランダムボタンを押す

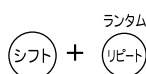
押すたびに、ランダムモードが以下のように切り換わります。

シャッフル

シャッフル	ディスク内のチャプターまたはトラックを順不同に再生します。
ランダム	チャプターやトラックを順不同に再生します。
表示なし	普通の再生に戻ります。

再生中、ランダムボタンを押すと、現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、ランダム再生が始まります。

■普通の再生に戻すには

シフトボタンを押しながら、ランダム画面が消えるまで、くり返し**ランダム**ボタンを押す

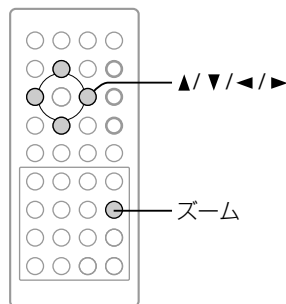
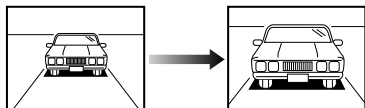
シフト ＋ ランダム リピート

または、**停止**ボタンを押して終了する

お知らせ

- ディスクによっては、ランダム再生できないものがあります。

ランダム再生

ズーム再生

画面を拡大(ズーム再生)できます。

DVD-V DVD-A VCD CD ズーム再生する

1 再生中、スロー再生中、一時停止中、早送り、早戻し中に、ズームボタンを押す

ズーム再生状態になり、ズームアイコンが表示されます。

例

Q 2×

2 ズームの倍率と位置を選ぶ

倍率

固定倍率を使う

以下の種類が選べます。

－拡大

－縮小

－通常再生

ズームボタンをくり返し押す

位置

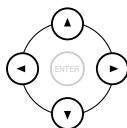
移動する

▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押す

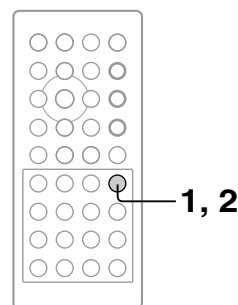
■ **普通の再生に戻すには**

ズームアイコンが消えるまで、**ズーム**ボタンをくり返し押す

または**停止**ボタンを押して終了する

お知らせ

- ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- 字幕やメニューの選択表示(マーク)などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。
- 映像が記録されたDVDオーディオディスクのときは、映像部分でのズーム再生ができる場合もあります。

音質の切換え(E.A.M.※)

音質を簡単に切り換えられます。
※E.A.M.=Enhanced Audio Mode

DVD-V DVD-A VCD CD 音質を切り換える

1 音場効果ボタンを押す

画質設定 音場効果

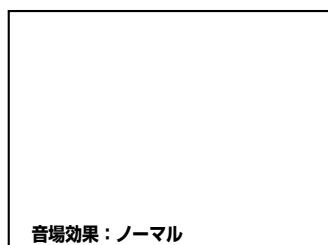
設定画面が表示されます。

音場効果:ノーマル

2 音場効果ボタンを押して、音質を選ぶ

画質設定 音場効果

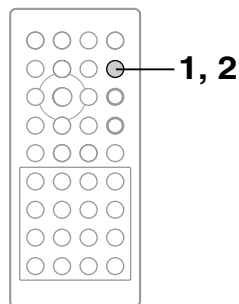
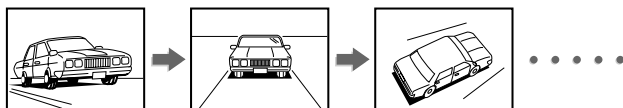
押すたびに、音質が切り換わります。

ノーマル: 普通の音声です。
3D: 2本のスピーカーだけでも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。
3D(ヘッドホーン): ヘッドホーンを使うときに、広がりと奥行き感のある音場効果になります。
ムービーボイス: 人の会話などをよりわかりやすく聞こえるようにします。(ドルビーデジタルで記録されたDVDビデオディスクの再生時だけです。)
- ビットストリーム/PCM音声出力端子で、この音場効果を働かせるときは、「音声出力設定」を「PCM」に設定してください。53

お知らせ

- 実際の音場効果は、音響設備によって異なります。
- 実際の音場効果は、ディスクによって異なります。
- ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプに接続する場合は、「ノーマル」を選択してください。「ノーマル」以外では、ドルビーサラウンド・プロロジックの機能は、正常な音とならない場合があります。

アングルの切換え

複数の角度（マルチアングル）で記録されている場所では、その中から画像を好きなアングルに切り換えられます。

   ……

DVD-V DVD-A VCD CD アングルを切り換える

1 再生中に、アングルボタンを押す

アングル

マルチアングルで記録されている部分を再生すると、画面にアングルアイコン(🎥)が表示されます。
アングルアイコンが表示されているときに、好きなアングルに切り換えることができます。

例

🎥1/5

2 アングルボタンを押して、アングルを選ぶ

アングル

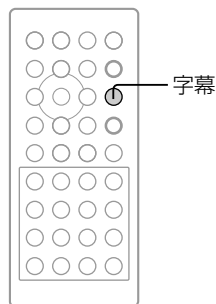
押すたびに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- アングルを選んでから、実際に画像のアングルが切り換わるまでには、少し時間がかかります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。
- 表示画面上で、アングルを変更することもできます。46
- 映像が記録されたDVDオーディオディスクのときは、マルチアングルで記録されている映像部分でアングルが切り換えられる場合もあります。

字幕の表示と切換え

ディスクに字幕が記録されていれば、再生画面に字幕を表示できます。

複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、その中から好きな字幕に切り換えられます。

DVD-V 字幕の言語を切り換える

1 再生中に、字幕ボタンを押す

字幕

現在の字幕設定が表示されます。

例

字幕 01/02: 日本語

2 字幕設定の表示中に、字幕ボタンを押す

字幕

押すたびに、表示される字幕言語が切り換わります。

■ 字幕の表示と非表示を切り換えるには

再生中に「字幕オフ」と表示されるまで、数回**字幕**ボタンを押す

字幕

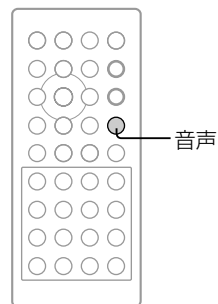
お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。また、字幕機能をオフに設定しても、非表示にできない場合があります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切換えをディスクメニューを使って選ぶ場合があります。
- 表示画面上で、字幕を変更することができます。46

お知らせ

- ディスクに記録されていない字幕言語を選んだときは、ディスクで決められている言語を選んで再生します。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。
- 映像が記録されたDVDオーディオディスクのときは、字幕が記録されている映像部分で字幕を選べる場合もあります。

音声の切換え

複数の音声が記録されているディスクでは、その中から好きな言語や聞きたい音声方式に切り換えられます。

DVD-V DVD-A VCD CD 音声を切り換える

1 再生中に、音声ボタンを押す

音声

現在の音声設定が表示されます。

例

音声　1/3: Dolby D 3/2.1CH 日本語

2 音声設定の表示中に、音声ボタンを押す

音声

押すたびに、ディスクに記録されている音声が切り換わります。

■ビデオCDの音声チャンネルを切り換えるには

再生中に、**音声**ボタンを押して、音声チャンネルを選ぶ

音声

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使って行う場合があります。このときは、メニューボタンを押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- ディスクに記録されていない音声を選んだときは、ディスクで決められている音声を再生します。
- 表示画面上で、音声を変更することができます。46

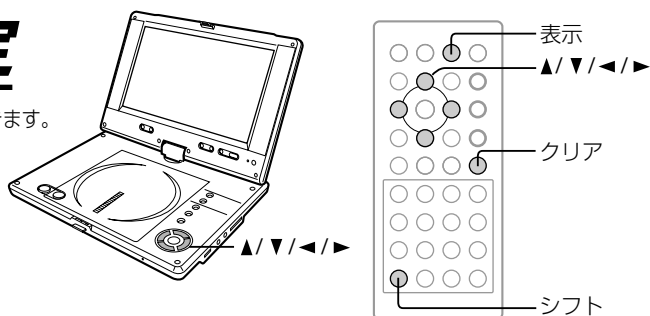
■ 出力される音声の種類

ディスク	音声方式		機能設定画面での「音声出力設定」50〉53〉と音声出力					
			「ビットストリーム」		「アナログ2ch」		「PCM」	
			ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカー/ヘッドホーン端子/AV OUT音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカー/ヘッドホーン端子/AV OUT音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカー/ヘッドホーン端子/AV OUT音声出力端子
DVDビデオディスク	ドルビーデジタル		ビットストリーム	48 kHz/20 bit	ビットストリーム	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
	リニアPCM	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit
		96 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	–	96 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		96 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	–	96 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		96 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	–	96 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit
	DTS		ビットストリーム	–	ビットストリーム	–	–	–
	MPEG1, MPEG2		ビットストリーム	48 kHz/16 bit	ビットストリーム	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
ビデオCD	MPEG1		44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
音楽用CD	リニアPCM	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
	DTS		ビットストリーム	(ノイズ)	ビットストリーム	(ノイズ)	ビットストリーム	(ノイズ)
DVDオーディオディスク	リニアPCMまたはパックドPCM	44.1 kHz/16 bit	–	44.1 kHz/16 bit	–	–	–	44.1 kHz/16 bit
		48 kHz/16 bit	–	48 kHz/16 bit	–	–	–	48 kHz/16 bit
		44.1 kHz/20 bit	–	44.1 kHz/20 bit	–	–	–	44.1 kHz/20 bit
		48 kHz/20 bit	–	48 kHz/20 bit	–	–	–	48 kHz/20 bit
		44.1 kHz/24 bit	–	44.1 kHz/24 bit	–	–	–	44.1 kHz/24 bit
		48 kHz/24 bit	–	48 kHz/24 bit	–	–	–	48 kHz/24 bit
		88.2 kHz/16 bit	–	88.2 kHz/16 bit	–	–	–	88.2 kHz/16 bit
		96 kHz/16 bit	–	96 kHz/16 bit	–	–	–	96 kHz/16 bit
		88.2 kHz/20 bit	–	88.2 kHz/20 bit	–	–	–	88.2 kHz/20 bit
		96 kHz/20 bit	–	96 kHz/20 bit	–	–	–	96 kHz/20 bit
		88.2 kHz/24 bit	–	88.2 kHz/24 bit	–	–	–	88.2 kHz/24 bit
		96 kHz/24 bit	–	96 kHz/24 bit	–	–	–	96 kHz/24 bit
		176.4 kHz/16 bit	–	176.4 kHz/16 bit	–	–	–	176.4 kHz/16 bit
		192 kHz/16 bit	–	192 kHz/16 bit	–	–	–	192 kHz/16 bit
		176.4 kHz/20 bit	–	176.4 kHz/20 bit	–	–	–	176.4 kHz/20 bit
		192 kHz/20 bit	–	192 kHz/20 bit	–	–	–	192 kHz/20 bit
		176.4 kHz/24 bit	–	176.4 kHz/24 bit	–	–	–	176.4 kHz/24 bit
		192 kHz/24 bit	–	192 kHz/24 bit	–	–	–	192 kHz/24 bit

：3D再生可能
(ただしダウンサンプリングされます。)

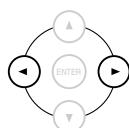
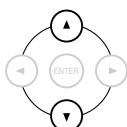
- DVDオーディオディスクの再生は、2チャンネル出力となります。このため、ダウンミックス(集約)が禁止されているディスクの再生はできません。
- DVDオーディオディスクの再生では、ビットストリーム/PCM音声出力端子からの信号は出力されません。
- 2本のスピーカーで再生している場合、ステレオ再生禁止のマルチチャンネル記録のディスクを再生すると、再生される音声はダウンミックスされないため、左/右スピーカーからはマルチチャンネルで記録されている左/右チャンネルそのままを出力します。
  これらのディスクは、同じ内容のものを2ch音声チャンネルでも収録している場合がありますので、音声を切り換えてお聞きください。(くわしくは、ディスクに付属の説明書などをご覧ください。)
- ビットストリーム/PCM音声出力端子から出力される88.2kHz以上の信号は、以下の場合にはダウンサンプリングされた信号(44.1kHzまたは48kHz)になります。
  －音場効果を「3D」に設定したとき。41〉
  －著作権保護処理されたディスクのとき。
- 著作権保護処理されたディスクの場合、信号は16bitになります。

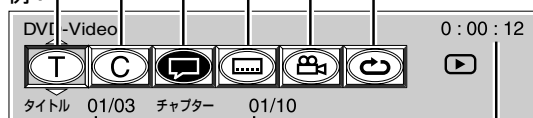
使用状態と各種設定

ディスクの使用状態や本機の操作内容などを、画面で確認できます。
また、画面上から各種設定ができます。

DVD-V DVD-A VCD CD 使用状態と各種設定

1 再生中に、表示ボタンを押す

以下のような画面が表示されます。
例：

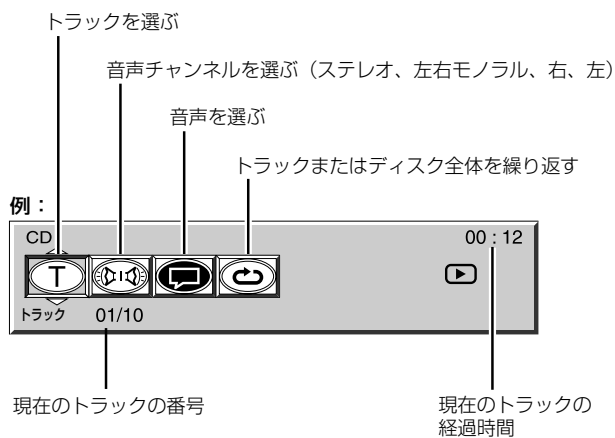
2 ◄ / ► ボタンを押して、項目を選ぶ

3 ▲ / ▼ ボタンを押して、選んだ項目を変更する

■DVDビデオやDVDオーディオディスクを再生しているとき

例：

■画面表示を消す

シフトボタンを押しながら、**表示**ボタンまたは**クリア**ボタンを押す

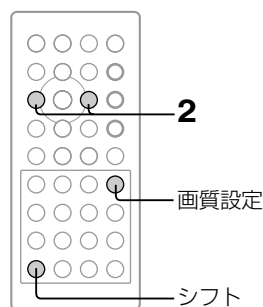
お知らせ

しばらく操作をしないと、設定用の画面は消えます。

■ビデオCDまたは、オーディオCDを再生しているとき

お知らせ

ディスクによっては、これらの機能が働かないものもあります。

画質の切換え

画質をお好みに合わせて簡単に切り換えられます。

DVD-V DVD-A VCD CD 画質を切り換える

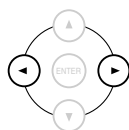
1 シフトボタンを押しながら、画質設定ボタンまたは本体の画質設定ボタンを押す

設定画面が表示されます

明るさ IIIIIIII........ 08

押すたびに、画質が以下のように切り換わります。

明るさ
↓
カラー
↓
画面モード
↓
表示なし

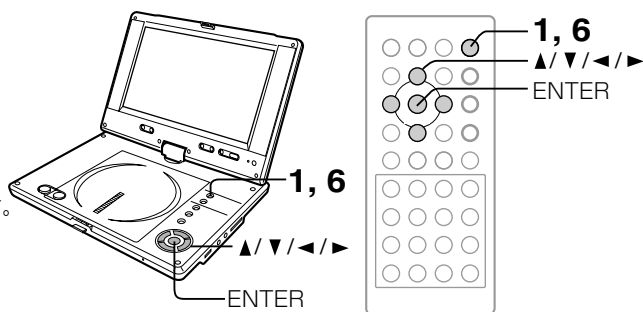
2 ◄ / ► ボタンを押して、設定を変える

明るさ　：0(暗)から16(明)
カラー　：0(薄)から16(濃)
画面モード：
フル
↓
ノーマル

「明るさ」、「カラー」の出荷設定値は「8」に設定されています。

機能設定

お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

初期設定の変更と機能の設定

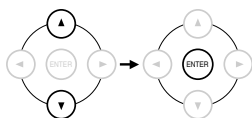
本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。
お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

DVD-V DVD-A VCD CD 設定のしかた

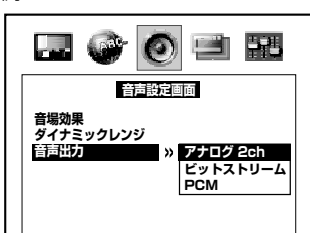
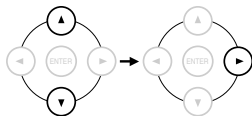
1 停止中に、セットアップボタンを押す

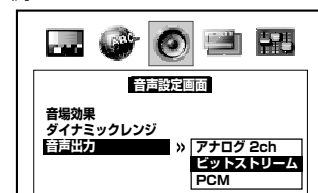
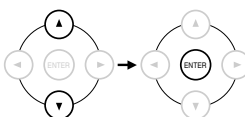
セットアップ　機能設定画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ ボタンを押して、設定したい項目を選び、ENTERボタンを押す

（次ページをご覧ください。）

例

3 ▲ / ▼ ボタンを押して、設定したい項目を選び、► ボタンを押す

例

4 52〉ページ以降の説明を参照して、▲ / ▼ ボタンなどで設定し、ENTERボタンを押す

例

5 ◄ ボタンを押して、手順3、4をくり返して他の項目も設定する

設定メニューの最初の画面に戻るには、 ▼ ボタンを押して「メイン画面」を選び、ENTERボタンを押してください。

6 セットアップボタンを押す

セットアップ　画面が消え、設定は終わりです。

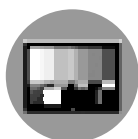
お知らせ

セットアップボタンは、再生中または停止中(停止ボタンを1回押す)にも押すことはできますが、項目によっては、設定ができない場合もあります。
このときは停止ボタンを2回押し、いったん再生を止めてから設定してください。

	項目		設定内容	設定の詳細ページ
TV画面形状	TV画面形状	DVD-V	テレビに接続してご覧になるとき、画面の形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。	52
言語	画面表示言語	DVD-V DVD-A VCD CD	画面表示に使う言語を選びます。	52
	音声言語	DVD-V	各国語で記録されている音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。	52
	字幕言語	DVD-V	各国語で記録されている字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	52
	ディスクメニュー言語	DVD-V	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。	52
音声	音場効果	DVD-V VCD CD	音質を選びます。	53
	ダイナミックレンジ	DVD-V	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。	53
	音声出力	DVD-V DVD-A VCD CD	接続のしかたに合わせて、どの音声方式を出力するかを設定します。	53
操作	パレンタルロック	DVD-V	パレンタルロック機能の内容や入/切を設定します。	54
	PBC	VCD	ビデオCD（PBC付き）のメニュー画面で再生をするかどうかを設定します。	55
	スクリーン・セーバー	DVD-V	スクリーン・セーバー（焼付き防止機能）を働かせるかどうかを設定します。	55
	出荷時設定	DVD-V DVD-A VCD CD	すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。	55
	優先再生	DVD-V DVD-A	DVDビデオの信号とDVDオーディオの信号のどちらかを優先して再生するかを設定します。	55
イコライザーモード	イコライザータイプ	DVD-V DVD-A VCD CD	お好みの音響効果を選びます。	55

・映像が記録されているDVDオーディオディスクなどのとき、DVD-V マークのついている機能が働く場合があります。

初期設定の変更と機能の設定（つづき）

設定の内容

TV画面形状 DVD-V

4:3ノーマル： 従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。
テレビ画面全体に再生画面を表示します。画面の片側または両側の画像部分がカットされます。

4:3レターボックス： 従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。
テレビ画面に対して横長に表示します。

16:9ワイド画面： 16:9ワイドテレビを本機に接続しているとき。
本機の液晶画面で見るとき。

お知らせ

- DVDビデオディスクには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状どおりに再生されないことがあります。
- 4:3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4:3の画面形状で再生されます。
- 4:3のテレビを本機に接続した状態で「16:9ワイド」を選ぶと、再生画面に水平方向の歪みや縦方向の縮みが生じます。お使いのテレビに合わせて設定をしてください。

画面表示言語 DVD-V DVD-A VCD CD

日本語： 日本語で画面表示します。
English：英語で画面表示します。

音声言語 DVD-V

日本語：日本語で音声を再生します。
英語： 英語で音声を再生します。

お知らせ

ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

字幕言語 DVD-V

日本語：日本語で字幕を表示します。
英語： 英語で字幕を表示します。

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、メニューボタンを押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

ディスクメニュー言語 DVD-V

日本語：日本語でディスクメニューを表示します。
英語： 英語でディスクメニューを表示します。

お知らせ

ディスクによっては、設定した言語のディスクメニューが記録されていないことがあります。この場合、ディスクメニューはディスクで初期設定されている言語で表示されます。

音場効果 DVD-V VCD CD

音質をお好みに合わせて切り換えられます。

ノーマル：　普通の音声です。

3D：　2本のスピーカーだけでも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

3D(ヘッドホーン)：
ヘッドホーンを使うときに、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

ムービーボイス：
人の会話などをよりわかりやすく聞こえるようにします。(ドルビーデジタルで記録されたDVDビデオディスクの再生時のみ)
- ビットストリーム/PCM音声出力端子から出力する音声をこの設定で聞くときは、「音声出力設定」を必ず「PCM」にしてください。

お知らせ

リモコンの音場効果ボタンを押しても、同じ設定ができます。41

ダイナミックレンジ DVD-V

夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。

オン：ダイナミックレンジ機能が働きます。
オフ：ダイナミックレンジ機能が働きません。

お知らせ

- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果レベルは、ディスクによって変わります。

音声出力 DVD-V DVD-A VCD CD

接続に合わせて選びます。
出力される音声の種類については、45ページをご覧ください。

ビットストリーム：ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2の各デコーダーを内臓したアンプを本機に接続しているとき。62 63
ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

アナログ2ch：　AV出力端子で、テレビやドルビープロロジック・ステレオシステムに、接続しているとき。58 62

PCM：　2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。63
ドルビーデジタル、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、PCM(2ch)に音声を変換して出力します。

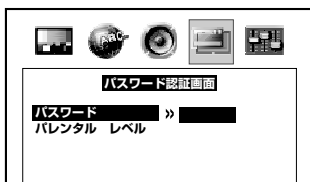
初期設定の変更と機能の設定（つづき）

設定の内容

パレンタルロック DVD-V

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し換えて再生されます。

- ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

オン：パレンタルロック機能を働かせたり、設定の内容を変えるときに選びます。ENTERボタンを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。
オフ：パレンタルロック機能は働きません。ENTERボタンを押したあとで、以下の手順1)を行ってください。

1) 番号ボタンを押して、任意の5桁の暗証番号を入力する

2) ▲ / ▼ ボタンを押して、パレンタルレベルを選び、ENTERボタンを押す

3) ◀ ボタンを押す

4) ▼ ボタンを押して、「操作」を選び、ENTERボタンを押す

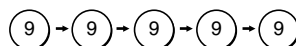
選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを「オフ」にしないかぎり、再生できなくなります。たとえば、レベル7を設定すると、レベル8以上は、ロックされ再生できなくなります。
「US」(アメリカ)を選んだときの規制レベルは、次のように対応しています。

レベル7：NC-17　　レベル3：PG
レベル6：R　　　　レベル1：G
レベル4：PG13

「US」以外を選んだ場合のレベルは、将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

■パレンタルロックの規制レベルを変えるには
手順1)～4)を行う

■暗証番号を変えるには
1)「オン」「オフ」を選んだあとで、9ボタンを5回押す

⑨→⑨→⑨→⑨→⑨

暗証番号が解除されます。

2)番号ボタンで新しい5桁の暗証番号を入力する

初期設定の変更と機能の設定

PBC VCD

オン：ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使って再生するとき。

オフ：ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使わず、普通の再生をするとき。

スクリーン・セーバー DVD-V

オン：スクリーン・セーバーが働きます。

オフ：スクリーン･セーバーは働きません。

出荷時設定 DVD-V DVD-A VCD CD

リセット：すべての設定を出荷時の状態に戻します。

優先再生 DVD-V DVD-A

DVDビデオの信号とDVDオーディオの信号の両方が1枚のディスクに記録されているときに、どちらの信号を優先して再生するかを設定します。

DVD-AUDIO：DVDオーディオの信号を優先して再生します。

DVD-VIDEO：DVDビデオの信号を優先して再生します。

イコライザータイプ DVD-V VCD CD

お好みの音響効果を選びます。

設定なし：音響効果は働きません。

ロック：ロック調になります。

ポップ：ポップ調になります。

ライブ：ライブ調になります。

ダンス：ダンス調になります。

テクノ：テクノ調になります。

クラシック：クラシック調になります。

ソフト：全体をソフトにします。

接続

テレビやオーディオシステムに接続できます。
また、バッテリーパックを接続して使うこともできます。

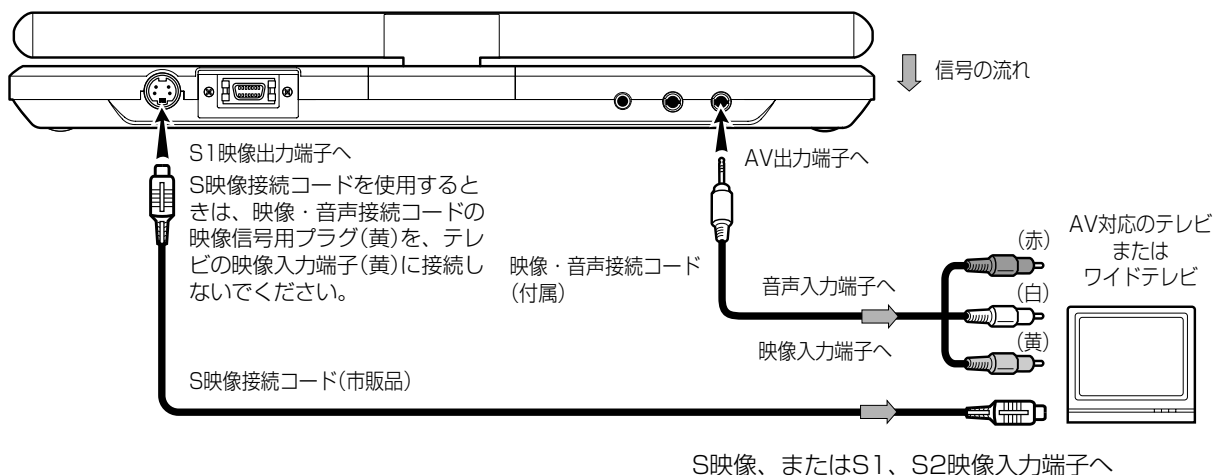
- **テレビやオーディオ機器との接続**
- **ヘッドホーンの接続**
- **外部機器の映像を見る**
- **他の機器との接続**
- **バッテリーパックを使う**
- **液晶画面部を回転させる**

テレビやオーディオ機器との接続

⚠警告

電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること
交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

本機の映像と音声をテレビにつないで楽しむ場合に接続します。出力される音声の種類については、45をご覧ください。

テレビとの接続

• 下の設定をしてください。

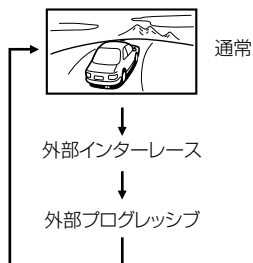
設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「アナログ2ch」	50 53

お願い

- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本体およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機とテレビは、直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働きによって正常な画像にならないことがあります。

■ 液晶画面/外部出力を切り換える

本体の**モニター**ボタンを押す

モニター　押すたびに、以下のように液晶画面が切り換わります。

外部インターレース：インターレース方式のテレビに接続しているとき。
外部プログレッシブ：プログレッシブ方式のテレビに接続しているとき。

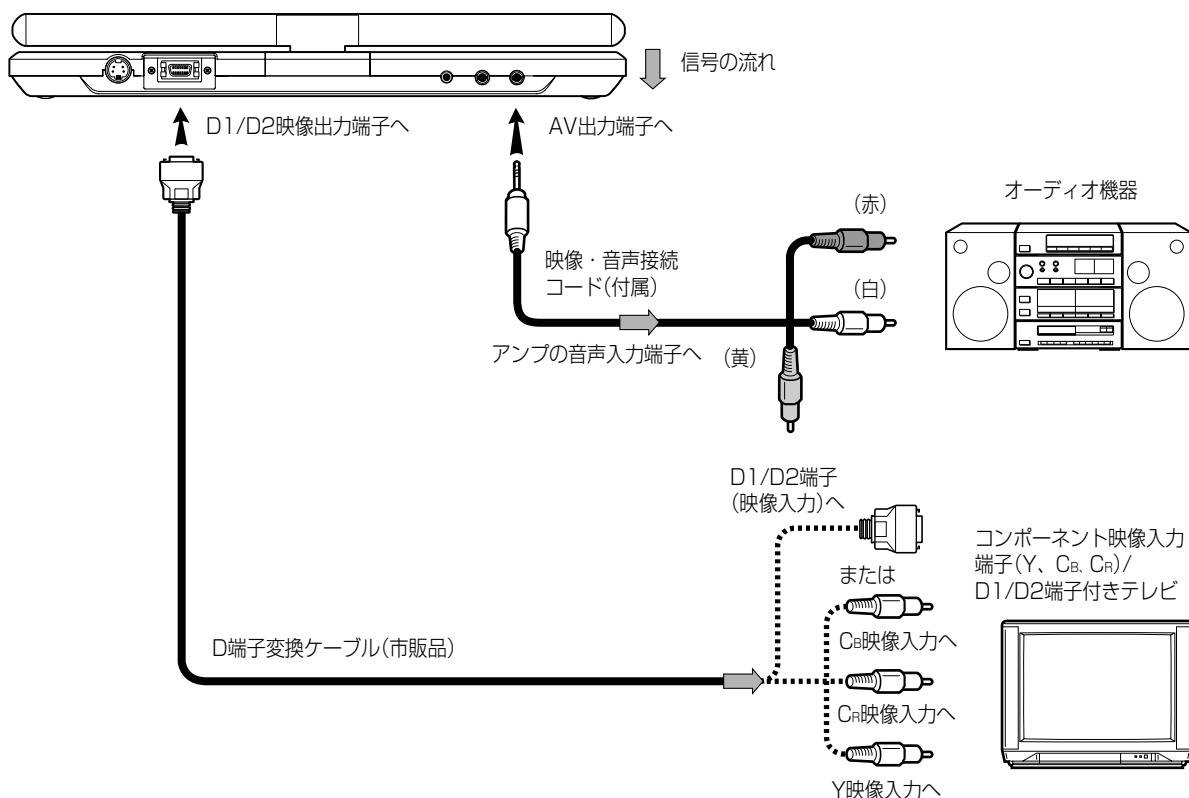
お知らせ

- 外部出力を選ぶと、約3秒間液晶画面に表示したあと外部出力に切り換わります。
- 出力信号をプログレッシブに設定し、インターレース対応テレビに出力しても正常な画像は映りません。
  出力信号の設定は、本機の液晶画面で行ってください。

⚠注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の原因となることがあります。

コンポーネント映像出力端子やD端子について
テレビやモニターなどには、コンポーネント映像入力端子（Y, CB, CR）やD端子が付いているものがあります。この端子に接続すると、より高画質で再生が楽しめます。コンポーネント映像入力端子の名称は、テレビやモニターによって異なります。（たとえば、Y、R-Y、B-Yなど）
接続するテレビやモニターによって、再生する画像の色が薄くなったり色相が変わることがあります。このときには、テレビやモニター側で調整してください。

オーディオ機器やコンポーネント映像入力端子／D端子付きテレビとの接続

■ 出力信号（インターレース/プログレッシブ）の切り換えかた

本機のコンポーネント映像出力端子／D1/D2映像出力端子からは、インターレースとプログレッシブのどちらかのスキャン方式の映像信号を出力することができます。接続したテレビのスキャン方式に合った映像信号が出力されるよう、**モニター**ボタンを押して、信号の種類を選んでください。58

モニター　「外部インターレース」／「外部プログレッシブ」どちらかを選びます。

AV 出力端子やビットストリーム／PCM音声出力端子と、オーディオシステムの音声入力端子とを接続すると、つないだオーディオシステムでディスクの音声が楽しめます。
オーディオシステムとの接続については、61をご覧ください。

- 下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「ビットストリーム」または「PCM」	50 53

お願い

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量でスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- 本機の電源プラグやACアダプターを抜き差しするときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。

ヘッドホーンの接続

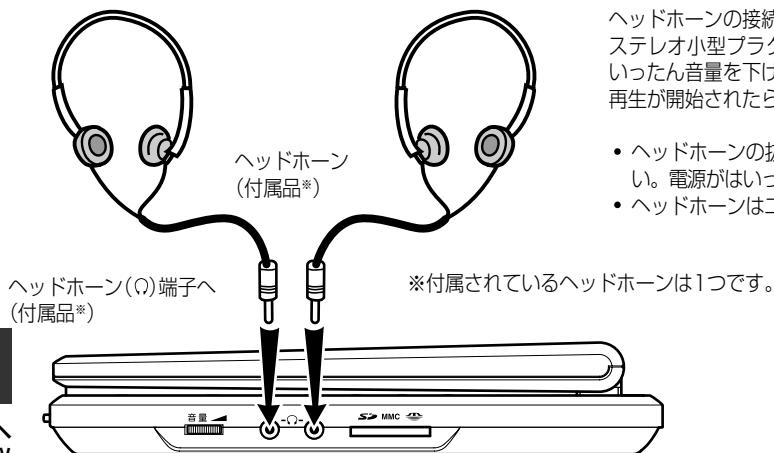
ヘッドホーンで音声を楽しめます。

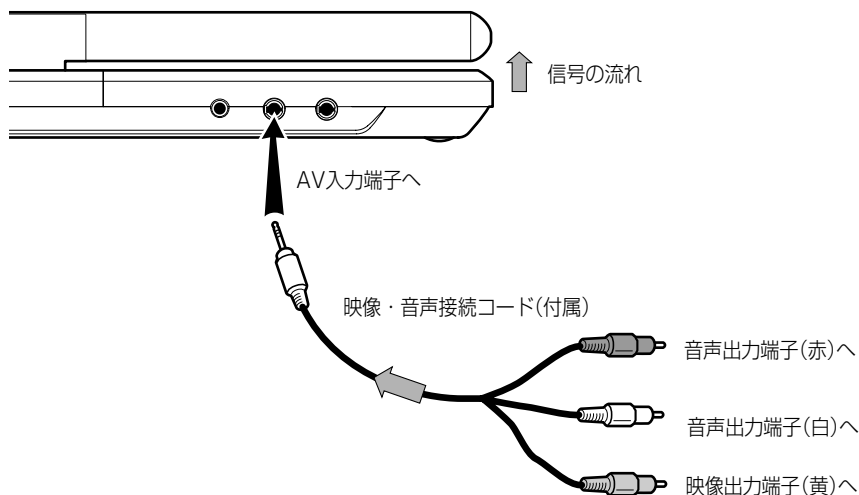
⚠注意

ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと。耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

※付属されているヘッドホーンは1つです。

ヘッドホーンの接続
ステレオ小型プラグのヘッドホーンを接続します。接続するときは、いったん音量を下げてから、音量を調整してください。
再生が開始されたら、お好みの音量に調整してください。

- ヘッドホーンの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。電源がはいった状態での抜き差しは、誤動作の原因となります。
- ヘッドホーンは二つ接続できます。

外部機器の映像を見る

AV入力端子に接続した外部機器の映像を、本機の液晶モニターで見ることができます。
本体の入力切換ボタンを押して、ディスクモードやカードモードから外部入力モードに切り換えます。（付属のリモコンで切り換える場合は、シフトボタンを押しながら、入力切換ボタンを押して切り換えます。）
外部入力をしている場合は、スクリーンセーバー機能は働きません。

お知らせ

- AV入力端子から入力される映像・音声は外部出力されません。
- 本機のAV入力端子にテレビゲーム機を接続してゲームを楽しむこともできますが、画面に向けて光線銃などを使用するゲームは、正しく動作しないことがあります。

他の機器との接続

お手持ちのオーディオシステムと接続して、迫力ある音響効果を楽しめます。

- テレビとの接続は 58 をご覧ください。
- 出力される音声の詳細については 45 をご覧ください。
- 図中の記号の意味は以下のとおりです。

：フロントスピーカー

：サラウンドスピーカー

：サブウーファー

：センタースピーカー

：信号の流れ

お願い

- 本機のビットストリーム/PCM音声出力端子は、ドルビーデジタルレシーバーのAC－3RF入力に接続しないでください。この入力端子は、レーザーディスク専用で本機のビットストリーム/PCM音声出力端子とは互換性がありません。
- 本機のビットストリーム/PCM音声出力端子は、お使いのレシーバーまたはプロセッサーの「デジタル（光）」またはデジタル（同軸）」入力へ接続してください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によってスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- 本機の**電源プラグをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、**必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。

⚠注意

- 本機のビットストリーム/PCMデジタル音声出力端子に、ドルビーデジタル、DTSまたはMPEG2のデコード機能を搭載していないAVデコード製品を接続してお使いになるときは、機能設定画面で「音声出力設定」を必ず「PCM」にしてください。50 53 大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。
- DTS対応のディスク（音楽用CD）を再生すると、音声出力端子から過度のノイズが出力されることがあります。オーディオ機器を本機の音声出力端子に接続している場合は、スピーカーなどを破損することのないよう十分ご注意ください。DTSデジタルサラウンド音声をお楽しみになるときは、必ず本機のビットストリーム/PCMデジタル音声出力端子にDTSデジタルサラウンドデコーダーを接続してください。

他の機器との接続（つづき）

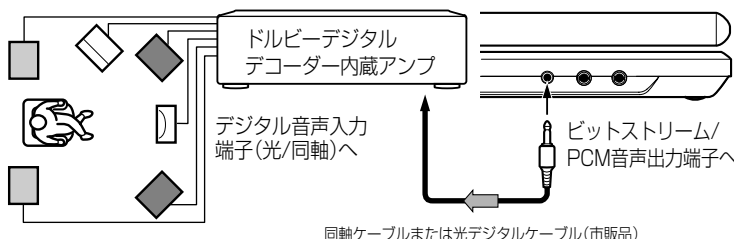
ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続する

ドルビーデジタル

最新の劇場公開映画で使われている代表的なサラウンド音響技術であるドルビーデジタルの臨場感が、ご家庭でも再現できます。本機とドルビーデジタルデコーダーを内蔵した6チャンネルアンプ、またはドルビーデジタルプロセッサーを接続して、DVDビデオディスクの映画やコンサートライブなどを、大迫力の臨場感で楽しめます。

- ドルビーデジタル対応のDVDビデオディスクをお使いください。
- 下の設定をしてください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「ビットストリーム」	50 53
音声方式	DD D	45

同軸ケーブルまたは光デジタルケーブル（市販品）

ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプと接続する

ドルビーサラウンド・プロロジック

ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプと、フロント、センター、サラウンドスピーカーを接続することで、迫力ある臨場感で音声を楽しめます。

■ **ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプでドルビーサラウンド・プロロジックを楽しむには**

「ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続する」と同じ接続をします。アンプの取扱説明書にしたがって、ドルビーサラウンド・プロロジックが聞けるように設定してください。

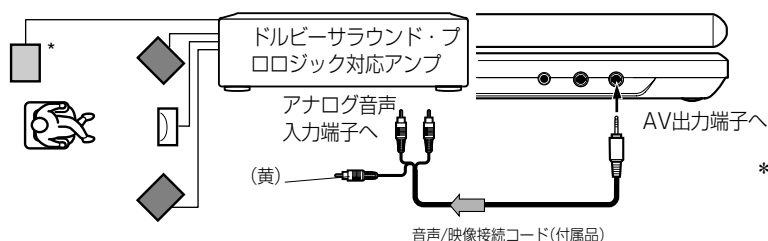
■ **ドルビーデジタルに対応していないアンプでドルビーサラウンド・プロロジックを楽しむには**

以下のように接続してください。

- 下の設定をしてください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「アナログ2ch」	50 53

この接続方法でドルビーサラウンド・プロロジックをお楽しみになるときは、必ず「アナログ2ch」に設定してください。

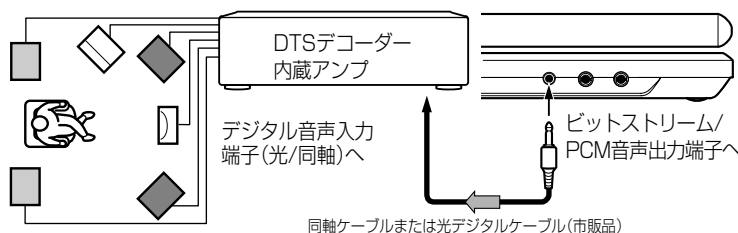
音声/映像接続コード（付属品）

＊サラウンドスピーカーは1本または2本接続します。2本接続しても、背面スピーカーからの音声出力はモノラルになります。

他の機器との接続

DTSデコーダー内蔵アンプと接続する

DTS

劇場公開映画などで使われている高品位のサラウンド音響技術であるDTSの臨場感が、DVDビデオディスクや音楽用CDで再現できます。本機とDTSデコーダーまたはDTSプロセッサーを接続して、DVDビデオディスクや音楽用CDの迫力ある5.1チャンネルDTSサラウンドを楽しめます。

DTSデコーダー
内蔵アンプ
デジタル音声入力
端子(光/同軸)へ
ビットストリーム/
PCM音声出力端子へ
同軸ケーブルまたは光デジタルケーブル(市販品)

DTSおよびDTS Digital Surround はDigital Theater Systems, Inc. の商標です。

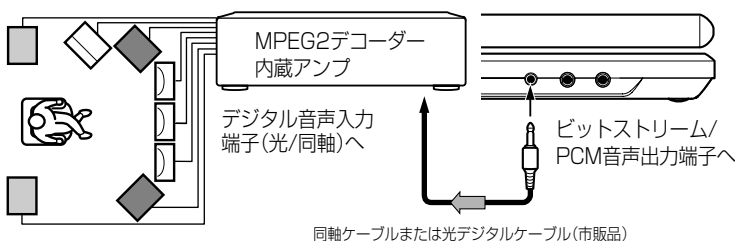
- DTS対応のDVDビデオディスクまたは音楽用CDをお使いください。
- 下の設定をしてください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「ビットストリーム」	50 53
音声方式	DTS	45

MPEG2音声デコーダー内蔵アンプと接続する

MPEG2

本機とMPEG2デコーダーを内蔵したアンプ、またはMPEG2プロセッサーを接続して、DVDビデオディスクの映画やコンサートライブなどを、大迫力の臨場感で楽しめます。

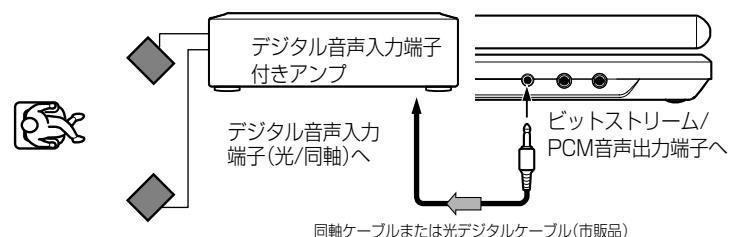
同軸ケーブルまたは光デジタルケーブル(市販品)

- MPEG2対応のDVDビデオディスクをお使いください。
- 下の設定をしてください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「ビットストリーム」	50 53
音声方式	MPEG2	45

デジタル音声入力端子付きアンプと接続する

2チャンネルデジタルステレオ

デジタル音声入力端子付きアンプとスピーカーシステム(フロント右、左)につないで、2チャンネルデジタルステレオの迫力ある音響効果を楽しめます。

同軸ケーブルまたは光デジタルケーブル(市販品)

- 下の設定をしてください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「PCM」	50 53

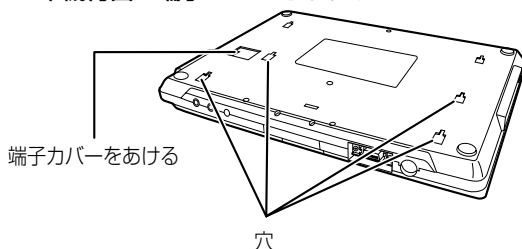
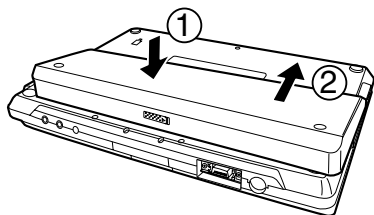
バッテリーパックを使う

⚠危険

- **指定されたバッテリーパックを使用すること**
  指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。
- **バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないこと**
  破裂・火災の原因となります。
- **バッテリーパックは、下の説明どおりに正しく取り付けること。バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること**
  バッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

■ バッテリーパックの取りつけかた

ACアダプターや外部機器などの接続コードを本体からはずした状態で、バッテリーパックを取りつけます。

1 **本機の電源を切る**
2 **本機を裏側にして置く**
3 **本機背面の端子カバーをあける**

4 **バッテリーパックを裏返しての①の矢印の方向に置き、バッテリーパックのツメを本体の対応する穴に差し込む**
次に②の矢印の方向にバッテリーパックをカチッと音がするまでスライドさせる

お願い

- 使用後は、本機からバッテリーパックをはずしてください。65

■ バッテリーパックの充電

1 **本機の電源を切る**
本機の電源を入れたままバッテリーパックの充電をすることはできません。必ず本機の電源を切ってから充電してください。
2 **バッテリーパックを取り付ける**
3 **ACアダプターと電源コードを接続する** 20
充電が始まり、電源(充電)表示がオレンジ色に点灯します。
充電が終了すると、電源(充電)表示が消灯します。

お知らせ

- 充電中は、電源(充電)表示が消灯するまでACアダプターと電源プラグを抜かないでください。
- 充電中や使用中はバッテリーパックがあたたかくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーパックの電池残量が少なくなると、バッテリー表示が画面に表示されます。
- 充電は周囲の温度が10℃～30℃で行ってください。

■ バッテリーパックの充電時間

約3.5時間

バッテリーパックは、本機の電源が切れているときだけ充電ができます。
充電時間は、バッテリーパックの状態や周囲の温度などによって変わります。

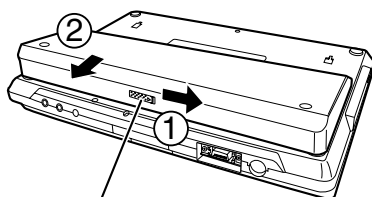
■ バッテリーパック使用時の連続再生時間

約3.5時間

(25℃、スピーカー使用、新品のバッテリーパック使用時)

- 連続再生時間は、あくまで目安であり、バッテリーパックの状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。
- 低温の環境で使用すると連続再生時間が短くなります。

■ バッテリーパックのはずしかた

1 本機の電源を切る
2 ACアダプターや外部機器などのコードが接続してあれば本機からはずす
3 本機を裏側にして置く
4 バッテリーパックのロックスイッチを①の矢印の方向にスライドさせて、バッテリーパックを②の矢印の方向にずらして取りはずす

5 本体背面の端子カバーを閉める

お願い

本機の動作中(電源(充電)表示が緑色またはオレンジ色に点灯中)は、バッテリーパックを取りはずさないでください。

■ バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックには寿命があります。正常に充電しても使用できる時間が著しく短くなった場合は、新しいバッテリーパックをお求めください。
お求めについては、お買い上げの販売店または「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。(形名：SD-PBP27J)

■ バッテリーパックのリサイクルについて

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

その場合、ショート防止のために電極にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。

バッテリーパック(充電式電池)の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先
社団法人　電池工業会
TEL： 03 (3434) 0261
ホームページ： http://www.baj.or.jp

液晶画面部を回転させる

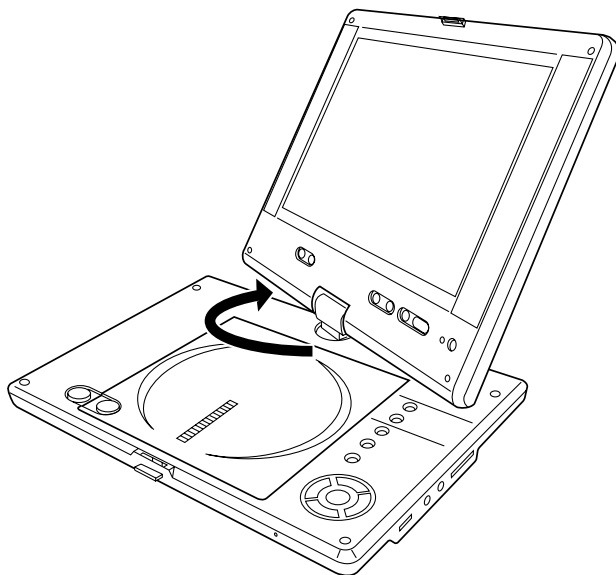
本製品は、液晶モニターを左回りに180°回転させて使用したり、回転させたあとに外側に折りたたんで操作することができます。

■ 液晶画面部の回転

1 本機を机などの安定した平らな場所に置く

2 液晶画面部を起こす

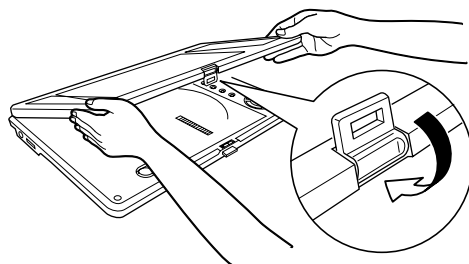
液晶画面部は無理に開けすぎないでください。
液晶画面の破損の原因となります。

3 液晶画面部の両側をしっかりつかみ、矢印の方向(左回転)にゆっくりと180°回転させる

お願い

- 液晶画面部を180°以上、または逆方向に回転することはできません。
  180°以上または逆方向に回転しようと無理な力を加えないでください。液晶画面部が破損するおそれがあります。
- 液晶画面部を開かないまま、回転させないでください。液晶画面が本体のボタンなどによってすれて傷がつくおそれがあります。

■ 液晶画面部を上側にして折りたたむ

液晶画面部を回転させたあと、液晶画面部のラッチを下に倒し、ラッチを挿入口に差し込んで固定させる

カチッと音がするまで差し込んでください。
ラッチをうまく差し込めない場合は、画面オープンスイッチを押して、正常な位置に戻してから、ラッチを差し込んでください。

■ 液晶モニターを通常の状態に戻す

1 画面オープンスイッチを押して、ラッチ解除する

2 液晶画面部を起こす

液晶画面部は無理に開けすぎないでください。
液晶画面の破損の原因となります。

3 液晶画面部の両側をしっかりつかみ、右回転にゆっくりと180°回転させる

お願い

- 本機を使い終わったら、液晶画面部は通常の状態に必ず戻して保管してください。
  液晶モニターを上側にして保管すると、予期せぬ衝撃を受けた場合、液晶画面が破損するおそれがあります。
- 液晶画面部を開かないまま、回転させないでください。液晶画面が本体のボタンなどによってすれて傷がつくおそれがあります。

その他

故障かな…？と思ったときは

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状と処置

症状	原因	処置	参照ページ
電源がはいらない。	• ACアダプターまたは電源プラグが抜けている。	• ACアダプターまたは電源プラグをしっかりと差し込む。	20
	• バッテリーパックがはずれている。	• バッテリーパックを取り付ける。	64
	• バッテリーパックが充電されていない。	• バッテリーパックを充電する。	64
電源が自動的に切れた。	• オートパワーオフ機能が働いた。	• 再生ボタンを押す	25
画像が出ない。（内蔵液晶画面以外で）	• 接続しているテレビの入力切換が正しくない。	• テレビの入力切換を、本機からの画像が映るように切り換える。	58
音声が出ない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の入力切換が正しくない。	• 音声接続コードをつないでいる機器の入力切換を、本機からの音声が出力されるように切換る。	58, 59
	• ボリュームが小さすぎる。	• ボリュームを回して調節する。	24
	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源がはいっていない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源を入れる。	58-63
	• 音声出力が正しく設定されていない。	• 音声出力を正しく設定する。	44, 50 53
ディスク再生中、画像や音声が乱れることがある。	• ディスクがよごれている。	• ディスクを取り出し、きれいにする。	14
	• 早送り、早戻しをした。	• 画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。	–
	• 再生中に衝撃を与えた、または移動した。	• 画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。正常な画像や音声に戻らないときは、一度停止させたあと、もう一度再生してください。	–
	• ディスクがしっかりとはまっていない。	• ディスクをいったんはずし、もう一度はめ直す。	22
画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする。（内蔵液晶画面以外で）	• コピー防止機能が働いている。	• 本機とテレビを直接接続する。	58
再生が始まらない。	• ディスクがはいっていない。	• ディスクを入れる。	22
	• 本機で再生できないディスクがはいっている。	• 再生できるディスクの種類、テレビ方式やリージョン番号を確認する。	13
	• ディスクを裏返しに入れている。	• 再生面を下にして入れる。	22
	• ディスクがななめにはいっている。	• ディスクをきちんと収まるように入れる。	22
	• ディスクがよごれている。	• ディスクをきれいにする。	14
	• パレンタルロックが設定されている。	• パレンタルロックを解除、または規制レベルを変更する。	54
ディスクで決められたとおりの再生ができない。	• リピート再生、ランダム再生、メモリー再生などをしている。	• これらの再生のあいだは、ディスクで決められたとおりの再生ができないことがあります。	–
操作ボタンを押しても動作しない。	• 静電気やノイズなどの影響で本機が動作しなくなっている。	• 電源スイッチで電源を入り切りしてみる。または、電源プラグを抜き、もう一度差し込む。	–
リモコンが動かない。	• リモコンが受光部に向いていない。	• リモコンの送信部を本機の受光部に向ける。	19
	• リモコンと受光部の間が遠すぎる。	• 約3m以内のところで操作する。	19
	• リモコンの電池が消耗している。	• 電池を交換する。	19
	• 本体のリモコン受光部に直射日光など強い光が当たっている。	• 本体を直射日光などを避けるような場所に置く。	19

仕様

本体部／端子部／液晶画面部／付属品

[本体部]

電源	入力端子 DC12V（定格電流：3A（最大：バッテリーパック充電時）） AC100V　50/60Hz（付属ACアダプター使用時）
質量	約1.2kg
外形寸法	幅259×高さ35×奥行193mm(突起部除く)
信号方式	日米標準NTSC　カラーテレビジョン方式
使用レーザー	半導体レーザー　波長　650nm/795nm
音声周波数特性　(デジタル音声)	DVDリニア音声　　:48kHz サンプリング 4Hz~22kHz (JEITA) :96kHz サンプリング 4Hz~44kHz (JEITA) :192kHz サンプリング 4Hz~88kHz (JEITA)
使用条件	温度：5℃～35℃、動作姿勢：水平

[端子部]

映像出力（AV出力）	1.0V(p-p)、75Ω、同期負、AV出力小型端子（Ø3.5mm）×1
S1映像出力	(Y) 1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ミニDIN4ピン×1 (C) 0.286V(p-p)、75Ω
D1/D2映像出力	D端子14ピン、2列、1.27mmピッチ Y出力：1.0V（p-p）、75Ω　CB・CR：0.7V(p-p)、75Ω
音声出力（ビットストリーム／PCM音声出力端子）	光／同軸コネクター（Ø3.5mm）×1
音声出力（AV出力）	2.0V(rms)、220Ω、AV出力小型端子（Ø3.5mm）×1
映像入力（AV入力）	1.0V(p-p)、75Ω、同期負、AV入力小型端子（Ø3.5mm）×1
音声入力（AV入力）	2.0V(rms) AV入力端子（Ø3.5mm）×1
ヘッドホーン端子	ステレオミニジャック（Ø3.5mm）×2

[液晶画面部]

画面サイズ	8.9V型　幅19.5×高さ11.3cm　（対角22.6cm）
表示方式	透過型 TN形カラー
駆動方式	低温ポリシリコンTFT（薄型トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
画素数	横1024×縦600ピクセル（有効画素率99.99%以上）

[付属品]

AV端子映像・音声接続コード.......... 1本
ワイヤレスリモコン.......... 1個
コイン型電池（CR2025）.......... 1個
ACアダプター（ADPV16）.......... 1個
電源コード.......... 1本
バッテリーパック.......... 1個
ヘッドホーン.......... 1個
ソフトケース.......... 1個
取扱説明書.......... 1冊

・意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
・この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは多少異なります。
・本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材料名表示をしています。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品について

- 当社は、ポータブルDVDプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは〜持ち込み修理

68ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容		
品名	ポータブルDVDプレーヤー	
形名	SD-P2700	
お買い上げ日	年　月　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください	
お名前		
電話番号		
便利メモ	お買い上げ店名	☎(　　)　　―

お客様へ･･･おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル トーシバ ヨイ **0120-1048-41**
電話受付：365日・24時間受付

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、山梨県、沖縄県）
044-543-0220（通話料がかかります）
西日本地区（上記以外）　06-6440-4411（通話料がかかります）

- 「東芝家電修理ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

新製品などの商品選びのご相談

『東芝DVDインフォメーションセンター』

フリーボイス **0120-96-3755**
携帯電話からのご利用は 0570-00-3755
（通話料がかかります）
（PHS･FOMAなど一部の電話ではご利用になれません）
月〜土 10:00〜20:00(年末年始、当社指定夏季休業日等を除く)
日曜日･祝日 10:00〜16:00(年末年始、当社指定夏季休業日等を除く)

※フリーダイヤルまたはフリーボイスは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105−8001　東京都港区芝浦1−1−1

＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。